

平成24年度

「石森新市長と語る」

の

記 録

八王子市 総合政策部 政策審議室

はじめに

市長が各地域に出向き、市民の皆様と膝を交えて、市政についてのご意見・ご提案等をお聴きする「市長と語る」は、本年1月の石森市長就任後初めての開催となり、名称を「石森新市長と語る」として平成24年5月及び6月に全6回実施しました。

「石森新市長と語る」では、市長による市政報告とともに、参加された市民の皆様からいただいたご意見、ご提案に直接回答するなど、市民と行政が手を携えてまちづくりを考える大切な機会として、「市民が主役」のミーティングを展開しています。

今回は「魅力あふれるまちづくり～皆さんの八王子への思いを聞かせてください～」をテーマに開催し、地域の市民力をまちづくりにいかす、皆様のアイデアを市長にご提案いただきました。

この冊子は、今回ご提案いただいた内容をまとめたものです。

目 次

はじめに

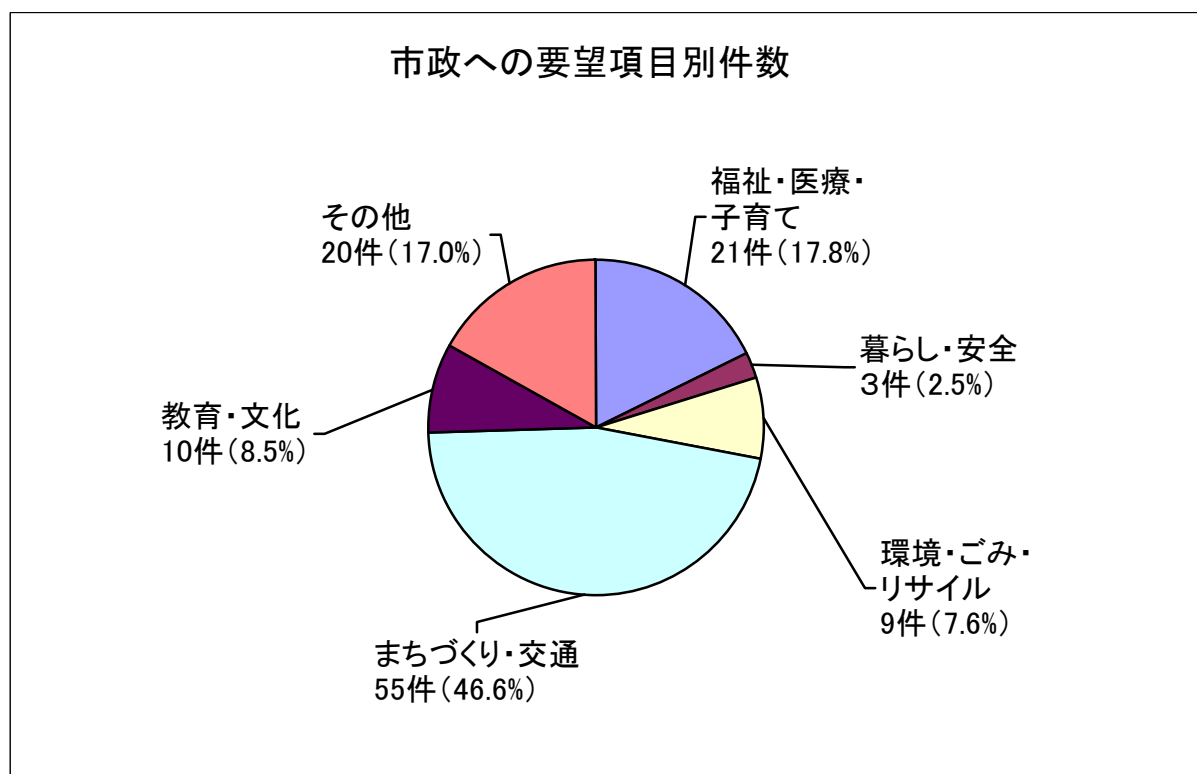
1. テーマ	1
2. 要望等項目別件数	1
3. 各会場の実績	2
4. 所管別内容	
(1) 所管別件数一覧表	2
(2) 所管別件名一覧表	3
5. 要望、市長答弁要旨及び担当所管	
中央地域（市役所本庁舎）	8
北部地域（加住市民センター）	12
西南部地域（横山事務所）	15
東南部地域（北野事務所）	19
西部地域（恩方市民センター）	24
東部地域（由木中央市民センター）	28
6. 過去の提案等取り組み状況	33
7. 会場配布資料	41
8. 開催案内チラシ	44

おわりに

1. テーマ 魅力あふれるまちづくり
 ～みなさんの八王子への思いを聞かせてください～

2. 要望等項目別件数

開催日	会場	地域	地区	福祉・医療・子育て	暮らし・安全	環境・ごみ・リサイクル	まちづくり・交通	教育・文化	その他	合計
5月19日	市役所本庁舎 (8階会議室)	中央	本庁	6	0	0	7	1	2	16
5月26日	加住市民センター	北部	加住 石川	1	1	1	6	2	0	11
6月2日	横山事務所	西南部	浅川 横山館	0	0	0	13	2	4	19
6月9日	北野事務所	東南部	由井 北野	7	1	2	7	1	3	21
6月23日	恩方市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	1	0	2	12	2	3	20
6月30日	由木中央市民センター	東部	由木 由木東 南大沢	6	1	4	10	2	8	31
合計				21	3	9	55	10	20	118



3. 各会場の実績

開催日	会 場	地 域	地 区	参加者数 (人)	発言者数 (人)	発言項目 数(件)
5月19日	市役所本庁舎 (8階会議室)	中 央	本 庁	149	8	16
5月26日	加住市民センター	北 部	加 住 石 川	111	9	11
6月2日	横 山 事 務 所	西 南 部	浅 川 横 山 館	104	12	19
6月9日	北 野 事 務 所	東 南 部	由 井 北 野	133	11	21
6月23日	恩方市民センター	西 部	元八王子 恩 方 川 口	122	13	20
6月30日	由木中央市民センター	東 部	由 木 由 木 東 南 大 沢	94	12	31
			合 計	713	65	118

4. 所管別内容

(1) 所管別件数一覧表

部 名	件 数	部 名	件 数
総 合 政 策 部	7	環 境 部	12
市 民 活 動 推 進 部	9	水 循 環 部	3
総 務 部	5	ま ち づ くり 計 画 部	19
生 活 安 全 部	6	ま ち な み 整 備 部	11
健 康 福 祉 部	17	道 路 事 業 部	10
こ ど も 家 庭 部	9	学 校 教 育 部	12
産 業 振 興 部	23	生 涯 学 習 ス ポ ー ツ 部	10
		合 計	153

(2)所管別件名一覧表

総合政策部		7件
発言番号	発言項目	開催日
6	基本計画の策定の進め方について	5月19日
13	政令指定都市について	5月19日
30	八王子市の総人口数の表記について	6月 2日
74	地域の文化講演会への講師派遣について	6月23日
88	なぜ、No.1の八王子を目指し中核市を目指すのか	6月30日
89	政治力と経済力について	6月30日
105	由木にも光をあてた市政を	6月30日

市民活動推進部		9件
発言番号	発言項目	開催日
19	集会所の建設に対する助成金について	5月26日
21	夢美術館での小学生の作品展示について	5月26日
36	長房市民センターの改築について	6月 2日
45	いちよう祭りについて	6月 2日
49	ホール等の予約抽選について	6月 9日
54	放射能測定に対して支援を	6月 9日
56	町内会活動について	6月 9日
57	町会会館建設費補助について	6月 9日
97	若者の就業支援について	6月30日

総務部		5件
発言番号	発言項目	開催日
30	八王子市の総人口数の表記について	6月 2日
44	市の職員はまちへ出て情報収集を	6月 2日
90	職員の人件費について	6月30日
92	障害者の雇用について	6月30日
93	職員の外 tournée について	6月30日

生活安全部		6件
発言番号	発言項目	開催日
24	加住地域の災害対策について	5月26日
34	防災倉庫の管理について	6月 2日
35	防災倉庫の備蓄量について	6月 2日
64	災害時の緊急対応について	6月 9日
96	犯罪防止対策について	6月30日
99	文字表示装置の設置について	6月30日

健康福祉部		17件
発言番号	発言項目	開催日
2	老人クラブにおける八王子市からの補助金の使い道について	5月19日
7	老人クラブ—激減の対策について	5月19日
8	老人クラブ—助言について	5月19日

9	老人クラブ—実情把握について	5月19日
10	老人クラブ—補助金の使途について	5月19日
20	給食の放射線測定について	5月26日
47	中途失聴・難聴者に対する配慮について	6月 9日
48	磁気ループ設置について	6月 9日
52	放射能測定について	6月 9日
53	給食の放射能測定について	6月 9日
54	放射能測定に対して支援を	6月 9日
55	給食の放射能測定について	6月 9日
63	地域のコミュニティについて	6月 9日
82	安心して出産・子育てができる施設設置について	6月23日
92	障害者の雇用について	6月30日
100	コミュニケーション支援派遣の無料継続について	6月30日
101	民生委員からのコミュニケーション支援派遣の申し込みについて	6月30日

こども家庭部

9件

発言番号	発言項目	開催日
16	保育士の労働条件改善について	5月19日
20	給食の放射線測定について	5月26日
52	放射能測定について	6月 9日
53	給食の放射能測定について	6月 9日
54	放射能測定に対して支援を	6月 9日
55	給食の放射能測定について	6月 9日
62	非行・犯罪の防止について	6月 9日
91	子育て支援について	6月30日
112	青少対の地域清掃活動について	6月30日

産業振興部

23件

発言番号	発言項目	開催日
12	まちの駅について	5月19日
14	中央線沿い広告パネル設置について	5月19日
15	アンテナショップ、ショールームについて	5月19日
37	観光客の市街地への呼びこみについて	6月 2日
38	まつりの山車について	6月 2日
39	街角のお祭りについて	6月 2日
41	道の駅設置について	6月 2日
42	石平道人の史跡について	6月 2日
51	定額で目減りしながら、6か月間通用する商品券について	6月 9日
60	商店街の活性化について	6月 9日
65	高齢者の買物不便について	6月 9日
67	地場産業を育てる工夫を	6月 9日
69	歴史道の設置について	6月23日
70	秋川・陣馬街道沿いの市街化調整区域の見直しについて	6月23日
78	道の駅による地場産業の振興と西部地域の活性化について	6月23日
80	森林を活かした産業を	6月23日
86	荒廃した雑木林の整備について	6月23日

88	なぜ、No.1の八王子を目指し中核市を目指すのか	6月30日
97	若者の就業支援について	6月30日
98	市内名所のガイドにQRコードを	6月30日
103	滝山城跡を四季の花々の公園に	6月30日
106	八王子ブランドの創出について	6月30日
107	アンテナショップについて	6月30日

環境部

12件

発言番号	発言項目	開催日
17	ゴミ収集事業の民間委託について	5月26日
50	八王子みなみ野駅周辺の全面禁煙について	6月 9日
52	放射能測定について	6月 9日
61	震災ガレキの受け入れについて	6月 9日
68	夕やけ小やけふれあいの里で水力発電を	6月23日
83	上川町に自然公園の設置について	6月23日
86	荒廃した雑木林の整備について	6月23日
94	震災ガレキの受け入れについて	6月30日
108	エネルギー自給率の現状について	6月30日
109	エネルギー自給率施策について	6月30日
110	学校への太陽光発電の設置について	6月30日
111	集合住宅への太陽光発電の設置について	6月30日

水循環部

3件

発言番号	発言項目	開催日
4	浅川河川敷整備について	5月19日
5	八王子駅周辺の地下水問題について	5月19日
31	浅川、湯殿川を結ぶ八王子周回健康ロードについて	6月 2日

まちづくり計画部

19件

発言番号	発言項目	開催日
1	中央線の高架化について	5月19日
18	新滝山街道のライフラインの敷設について	5月26日
26	高月町の市街化区域の計画について	5月26日
28	南バイパス道路の環境負荷軽減対策について	6月 2日
31	浅川、湯殿川を結ぶ八王子周回健康ロードについて	6月 2日
32	路面電車の復活について	6月 2日
46	中央線の複々線化について	6月 2日
58	北野街道の拡幅について	6月 9日
66	八王子駅周辺のバスルートについて	6月 9日
70	秋川・陣馬街道沿いの市街化調整区域の見直しについて	6月23日
71	北西部の新しいまちづくりについて	6月23日
72	圏央道上川橋の高架下の公園について	6月23日
73	北浅川歩道橋架設について	6月23日
76	高尾駅の開発について	6月23日
77	圏央道八王子西インターのフルインター化について	6月23日
79	物流拠点整備について	6月23日

84	山間過疎地の公共交通について	6月23日
85	北西部幹線道路の見直しについて	6月23日
104	和田峠のトンネル化について	6月30日

まちなみ整備部

11件

発言番号	発言項目	開催日
3	都立小宮公園の整備について	5月19日
22	北部地域に公園の整備を	5月26日
23	宮下町のまちなみ広場の除草について	5月26日
27	宇津木区画整理事業について	5月26日
29	市営住宅の入居基準について	6月 2日
33	公園を四季の花々でいっぱい	6月 2日
52	放射能測定について	6月 9日
72	圏央道上川橋の高架下の公園について	6月23日
88	なぜ、No.1の八王子を目指し中核市を目指すのか	6月30日
103	滝山城跡を四季の花々の公園に	6月30日
115	樹木の管理について	6月30日

道路事業部

10件

発言番号	発言項目	開催日
5	八王子駅周辺の地下水問題について	5月19日
31	浅川、湯殿川を結ぶ八王子周回健康ロードについて	6月 2日
37	観光客の市街地への呼びこみについて	6月 2日
40	地名の表示について	6月 2日
42	石平道人の史跡について	6月 2日
59	美山街道の整備について	6月 9日
95	通学路の安全確保について	6月30日
102	JR八王子駅北口駐車場に地下名店街を	6月30日
114	道路の冠水について	6月30日
115	樹木の管理について	6月30日

学校教育部

12件

発言番号	発言項目	開催日
11	土・日・祝祭日・放課後の学校施設の使用について	5月19日
20	給食の放射線測定について	5月26日
21	夢美術館での小学生の作品展示について	5月26日
25	小中一貫校、加住小中学校の課題について	5月26日
43	学校選択制について	6月 2日
52	放射能測定について	6月 9日
53	給食の放射能測定について	6月 9日
54	放射能測定に対して支援を	6月 9日
55	給食の放射能測定について	6月 9日
62	非行・犯罪の防止について	6月 9日
81	作文コンクール開催について	6月23日
87	市立小・中学校適正配置推進計画の見直しについて	6月23日

発言番号	発言項目	開催日
42	石平道人の史跡について	6月 2日
48	磁気ループ設置について	6月 9日
69	歴史道の設置について	6月23日
74	地域の文化講演会への講師派遣について	6月23日
75	和田峠を文化財保全と観光のメッカに	6月23日
103	滝山城跡を四季の花々の公園に	6月30日
113	公認グランドゴルフコースの設置について	6月30日
116	くらしの便利帳には最新情報の掲載を	6月30日
117	史跡の案内板を公園や駅に	6月30日
118	博物館の建設について	6月30日

5. 要望、市長答弁要旨及び担当所管

(発言者敬称略)

【中央地域】

平成 24 年 5 月 19 日 (市役所本庁舎)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
1	<p>【「中央線の高架化」について】</p> <p>立川駅から高尾駅間の中央線の高架化は長年の沿線住民の念願。実現に向け、市長の尽力を期待する。</p> <p>(小林 晃)</p>	<p>財源的な問題があり、当然、近隣市、東京都、国、鉄道事業者などが財源的な工面をしなければならない。計画は立川までとなっており、八王子・高尾まで入っていないため、実現性は非常に厳しい状況。国あるいは東京都に対するも要請は今後もしていきたい。</p>	まちづくり計画部
2	<p>【「老人クラブにおける八王子市からの補助金の使い道」について】</p> <p>老人クラブに対して補助金が支給されている。茶菓子や飲み物は補助金の対象となっているが、これに弁当なども加えてほしい。</p> <p>(小林 晃)</p>	<p>市の補助金に対しては、東京都からの補助金も含まれている。都においては、現物給付とか食料費への補助金は使用を認めていない前提があるが、市では例外的に茶菓子や飲み物を認めている。なお、簡潔な経理処理をしたいという老人会の皆さんからも要請があるので、市において経理関係は簡潔にできるような取り組みも進めていきたい。</p>	健康福祉部
3	<p>【「都立小宮公園の整備」について】</p> <p>都立公園の小宮公園は整備が遅れている。防災と市民の憩いの面を考慮した上で、国あるいは東京都と協議して、是非整備をしてほしい。</p> <p>(佐藤 邦彦)</p>	<p>平成 2 年から小宮公園の拡張と拡大について東京都に要望をしている。昨年の 12 月に東京都と区市町村が共同で策定した「都市計画公園緑地の整備方針」の中で、小宮公園は今後 10 年間で優先的に整備する公園緑地に位置づけられたので、引き続き整備拡張と拡大について、東京都に要望していく。</p>	まちなみ整備部
4	<p>【「浅川河川敷整備」について】</p> <p>日本全国の桜並木を見ると、ほとんど河川にずっと並んで植えてある。浅川の河川もできるのかなと思っている。</p> <p>(佐藤 邦彦)</p>	<p>河川沿いの桜の植樹については、国の許可が必要であり、国は堤防部分の植樹については、安全性を損なうという恐れがあるということで審査基準を定めている。植樹をする堤防の宅地側に広い用地が必要になるという条件もあり、市の中心市街地を流れる浅川での実現というのは、残念ながら難しい。</p>	水循環部
5	<p>【「八王子駅周辺の地下水問題」について】</p> <p>大きいビルを建てるため工事に壁を地下に打ち込み、地下水の流れがそのビルが建つたびに変わっていく状況があり、古い建物の地下街はみんな水浸しになっ</p>	<p>八王子駅周辺の地下水問題だが、地下駐車場については南北に長いという形状になっており、その地下水の流れを遮断することがないように、地下駐車場の西側から東側に向かって通水管を通してあ</p>	水循環部 道路事業部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
	<p>てきているという状況をどう考えているか。</p> <p>(佐藤 邦彦)</p>	<p>る。道路と駐車場の天井部分との間にも水が流れるような砂礫層も設けており、その結果、東側の地域においては井戸枯れなどの被害はなく、工事前と同様に地下水が流れていると、そのように見ている。</p>	
6	<p>【「基本計画の策定の進め方」について】</p> <p>基本的にまちづくりをする場合には、その内容として何をめざすかということをも明確にする必要がある。しっかりしたまちづくりの理念のもとに、どういう八王子市の将来像を目指すのか明確にし、その中で優先順位をつけて具体的な施策を展開すべきと思う。</p> <p>(原田 實)</p>	<p>平成5年度からの10か年の具体的な施設整備計画を示した基本計画である、八王子21プランがあったが、10年となると社会状況や環境が変化するので、なかなか先に進まない状況があった。平成15年度からスタートしたゆめおりプランでは、基本構想を実現するための施策の展開を表現することに留め、具体的な事業は3か年の計画となる実施計画を作成して毎年見直し、着実に進めてきた。</p> <p>平成25年度からの新基本計画についてもゆめおりプランと同様に、直接、市民の意見、提言を取り入れるため、素案の策定を市民会議に委ねた。前回よりも大規模な市民会議を行い、また、市民会議の前に5,000人の市民の皆さんにアンケートを実施し、市民会議と市議会議員との交換意見会も行うなど、より多くの市民の意見を踏まえた計画策定に努めている。</p>	総合政策部
7	<p>【「老人クラブ激減の対策」について】</p> <p>この5年間、老人クラブおよび加入者の激減について、市として対策を講じてきたのか。</p> <p>(山本 正光)</p>	<p>平成21年度には「単位老人クラブ活性化検討会」を設置し、会員増強策をまとめ、すべての老人クラブに配布した経緯がある。</p>	健康福祉部
8	<p>【「老人クラブ助言」について】</p> <p>解散した老人クラブに対し組織存続のための助言を行ってきたのか。また、その内容は。</p> <p>(山本 正光)</p>	<p>解散前に相談のあったクラブには、問題点をお伺いをして会員増強などの助言を行っている。</p>	健康福祉部
9	<p>【「老人クラブ実情把握」について】</p> <p>この5年間、各老人クラブに対し、市は視察し、実情を把握したことがあるのか。</p> <p>(山本 正光)</p>	<p>普段の活動や作品展を拝見するとともに、会報等で活動の実態を把握している。</p>	健康福祉部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
10	【「老人クラブ補助金の使途」について】 補助金の使途について各老人クラブに任せることはできないか。 (山本 正光)	行政が交付する補助金なので、当然ルールの範囲内になるが、その使途については各老人クラブにお任せしている。	健康福祉部
11	【「土・日・祝祭日・放課後の学校施設の使用」について】 体育館とグラウンドの騒音が入ってくる。放課後と日曜日、祝祭日は朝9時～午後9時まで使い、家庭生活が破壊される。改善をしてほしい。 (山田 勝義)	平成23年度は、体育館の開放はなく、校庭も年3回に減っている。学校の教育活動として部活動に理解を。	学校教育部
12	【「まちの駅」について】 「まちの駅」は今、地域活性化の手段として注目を浴びている。全国に1,600以上、近くは町田市にある。喫茶、コンサートとか青空市場など、地域活性化を図り、他に類のない「まちの駅」をつくり、各地から見学に来てもらおうと思っている。八王子市の応援をもらえたら。 (関根 孝)	現在、「まちの駅」は設置を検討していない。「まちの駅」の機能となる、まちの案内や情報の提供、物産の紹介等の取り組みについては、今後の検討としたい。	産業振興部
13	【「政令指定都市」について】 市長は中核市移行を進めているが、日野市との合併により政令指定都市になればと思う。 (関根 孝)	政令指定都市に指定された市の実態から考えると、最低でも人口70万人以上必要なので、確かに日野市と合併すれば可能性はあるが、実現性は薄いと思う。市では中核市の移行は2年後を目途に目指す方向で進めている。	総合政策部
14	【「中央線沿い広告パネル設置」について】 中央線の上り下りともに2キロ程度、線路脇に同一規模の広告パネルを設置してJR八王子駅に降車してもらおうツールを作りたい。企業や店舗、観光の案内だけではなく、元気な集団やゆるキャラにも協力してもらって、広告パネルとして気にしてもらおうようなツールになればと思う。 (小宮 継男)	JR東日本によると、線路補修や運行の問題などから、線路沿いの広告パネルの設置を進めてはいないということだが、八王子駅を中心に乗降客を増やし、まちなのにぎわいを創出することは重要。そのため飲食店や観光案内、イベント情報などのPR強化、産官学連携の推進など地域力の向上を目指した施策を展開していく。	産業振興部
15	【「アンテナショップ、ショールーム」について】 現在使用されていないJR八王子駅の東側の駐車場(旧そごう八王子駐車場)にア	10月をめどに、JR八王子駅周辺に案内所を設置し、観光案内のほか、市の特産品なども紹介していく。なお、JR八王子駅東側の駐車場は駅ビル「セレオ八王子北	産業振興部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
	<p>ンテナショップやショールームといった八王子の名店やおみやげもの屋、観光案内所などを設置してみてはいかがだろう。</p> <p>(小宮 継男)</p>	<p>館」の開店に合わせて再開する予定。</p>	
16	<p>【「保育士の労働条件改善」について】</p> <p>保育士さんや教育の方の労働の環境の向上をお願いしたい。保育士さんは、従順でけっこう意見を言えないような感じがあると思うので、見えないところで変えていくようにお願いしたい。</p> <p>(坂上 敬子)</p>	<p>市内の保育園の待機児童解消に向けて施設整備を進めており、今年度も過去 10 年来で最高の 333 人の定員増を計画している。そうした中、保育士不足ということも聞いているし、重労働であることも感じている。保育園協会との会合等で実態把握しながら、改善できるところは改善するように伝えていきたい。</p>	こども家庭部

【北部地域】

平成 24 年 5 月 26 日（加住市民センター）

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
17	【「ゴミ収集事業の民間委託」について】 ゴミ収集事業は民間に委託すべきだ。 （三入 久男）	ゴミの収集については、着実に民間委託を進めている。	環 境 部
18	【「新滝山街道のライフラインの敷設」について】 谷地川の河川工事に伴って加住町会館が移転しなければならないため新滝山街道に面した土地を入手した。新滝山街道の完成と同時に上下水道が施工されるよう要望。 （大澤 敬之）	新滝山街道については、電線共同溝が 25 年度からスタートし、それに合わせて水道、電気も埋設する。先行して道路を建設という関係で、その共同溝は同時とはなかったが、25 年度からスタートするという話を聞いている。	まちづくり計画部
19	【「集会所の建設に対する助成金」について】 集会所の建設に対する助成金の増額も是非お願いしたい。 （大澤 敬之）	集会施設の補助金については、6 月補正で、増額する。	市民活動推進部
20	【「給食の放射線測定」について】 市内の学校給食の食材の放射線測定が行われることになったが、是非、効果的な測定をしていただきたい。市民が行っている測定所を見学されて、どういったものが測られているか現場を見てほしい。 （仲野 敦子）	国や都道府県による食材を中心にしたモニタリング検査は、現在も継続して行われている。その検査結果をいろいろ考え合わせると、現状では食材の安全性は確保されていると考えている。これらの食材を使った学校給食は安全安心なものだが、保護者にも再確認してもらうため、消費者庁から貸与された測定機器を活用して測定する。	学校教育部 健康福祉部 こども家庭部
21	【「夢美術館での小学生の作品展示」について】 夢美術館で小学生の展示会などを開けば、お父さんお母さんもやって来て、まちのにぎわいを取り戻せるのでは。 （小澤 英夫）	子どもの作品展示については、教育委員会が毎年、小学校、中学校の児童生徒合同の作品展として、おおるり展を開催している。平成 17 年度から 23 年度まではそごうで、行っており、市内の小中学校から作品数で 5,000 点に及ぶ出品があり、毎年 13,000 人から 18,000 人の来場者がある。まちのにぎわいにもつながったと思う。八王子市夢美術館のコンセプトは、すぐれた美術品を身近なところで鑑賞できる場の提供であり、特に芸術性のある作品を企画展示している。子どもたちの芸術に対する感性を磨くことも美術館にとってとても大切なことだが、コンセプトや方法の整理が必要であり、今後の検討としたい。	学校教育部 市民活動推進部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
22	<p>【北部地域に公園の整備を】</p> <p>今ある公園や広場の遊具などの設置を進めるとともに、緑豊かな地域性を活かした公園を作ってほしい。</p> <p>(三橋 道子)</p>	<p>加住地区の公園面積は、一人当たりで比較するとずいぶん広い。しかし、それは人口が少ないからで住まいの近くに公園が十分にあるとはいえない。地域の要望、ご意見をいただき整備に努めていく。</p>	まちなみ整備部
23	<p>【「宮下町のまちなみ広場の除草」について】</p> <p>宮下町の広場の除草回数を増やしてほしい。</p> <p>(三橋 道子)</p>	<p>草取りは年2回を基準としているが、地元の方からご意見があったら、すぐに対応できるようにしたい。</p>	まちなみ整備部
24	<p>【「加住地域の災害対策」について】</p> <p>高月は山が崩れたら避難する場所もない、災害時の備品もない。町会の会館に保管する災害用の備品を市から渡してもらいたい。</p> <p>(川久保 正子)</p>	<p>災害に対しては、自助・共助・公助という三つの取り組む姿勢がある。震災等に対しては自助・共助という部分がほとんどを占める。特に7割方が自助が大切だということを言われている。大きな震災の場合には、公が助けることは非常に困難である。そこで、できる限り自宅で備蓄等をしていくことが一番大切だと思う。その後さらになとなった時、共助・公助という形になる。町会会館の備蓄については、町会、自治会、自主防災組織等が、地域特性に応じた対応を進めていただければ一番いい。</p> <p>是非、地域の自主防災組織を立ち上げて、倉庫等も設置し、そこに備品を備蓄する。という方向で検討してほしい。</p>	生活安全部
25	<p>【「小中一貫校、加住小中学校の課題」について】</p> <p>加住小中学校は平成22年度から小中一貫校となり、同じ校舎で授業を行っているが、職員室が手狭なため、小学校と中学校の職員室が分かれている。連携を取るためにも職員室を統合できないか。</p> <p>(橋本 渉)</p>	<p>一貫校として小学校と中学校が連携していくためには、職員室が一体であることが望ましい。建築基準法の規制など、課題はあるが設置に向けて検討する。</p>	学校教育部
26	<p>【「高月町の市街化区域の計画」について】</p> <p>具体的にどのような整備をし、いつ頃なされるか、都市計画決定などへの考えをお聞きしたい。</p> <p>(小山田 良徳)</p>	<p>調整区域について見直してほしいという声が出て来ている。住民の意向調査という形でお話を伺っていく。それに基づいてどういう結論を見出していくか、といったスケジュールになる。</p>	まちづくり計画部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
27	<p>【「宇津木区画整理事業」について】</p> <p>計画が進むのはまだまだ先のように思う。宇津木方面の区画整理事業について、どう考えているのか。また、補正予算を組む等の考えがあるのか。</p> <p>(石森)</p>	<p>6月補正予算でも中野西、中野中央、宇津木、この3か所の事業地についてテコ入れをする。宇津木地区については4億3千万円程度となる。39年度完成に向けて今後とも努力していきたい。</p>	<p>まちなみ整備部</p>

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
28	<p>【「南バイパス道路の環境負荷軽減対策」について】</p> <p>環境アセスメントの結果では、非常に影響が少なく軽微であるとなっているが、こちらの研究では騒音や NO2 で負荷は重くなる。国や市は環境負荷は守られているので特に対策は講じないとしているが、納得できない。市長の指導を願う。我々の居住環境で測定してほしい。</p> <p>(宮崎 宏)</p>	<p>南バイパスについては、都条例でアセスメントが行われ、事業者は環境基準が守れるような構造で計画している。市でも環境測定を 7 か所で実施している。市でも環境基本計画に基づき、環境の改善に努めていく。測定位置については、検討してみる。</p>	まちづくり計画部
29	<p>【「市営住宅の入居基準」について】</p> <p>市営住宅の入居時の収入調査が不十分。入居者の収入調査もきちんと行ってほしい。本当に困っている人が入れるようにしてほしい。</p> <p>(鈴木 昭彦)</p>	<p>市営住宅については、国で定めた収入基準である月 15 万 8 千円を超えた世帯は入居ができない。収入についての証明書で、収入認定を行っている。既に入居している方も年に 1 回収入報告書を提出していただき、基準を超える収入がある場合には住宅の明け渡しに向けた指導を行っている。ただし、相続などで多額の現金などを取得したとしても収入として反映されない場合もあり、明け渡し義務が発生しないという現状がある。国の制度が実態に合わない面もあり、改めるよう要望している。今後も引き続き住宅に困窮する方に、公平、的確に市営住宅が提供できるように努力していきたい。</p>	まちなみ整備部
30	<p>【「八王子市の総人口数の表記」について】</p> <p>市長は、八王子の人口は 58 万人と言っているが、広報には住民基本台帳では、55 万 5 千人とある。市民は混乱する。「何年度の国勢調査」と具体的に表記すべき。</p> <p>(横沢 勝弥)</p>	<p>私が申し上げているのは国勢調査 58 万人のこと。国勢調査の人口は、衆議院議員選挙の小選挙区の画定とか地方交付税の算定にも用いられるが、市民の皆さんからすると 58 万よりも 55 万 5 千のほうが馴染みがあるかと思う。広報 7 月 1 日号の巻末の人口データ欄には国勢調査人口も併記するように改める。</p>	総合政策部 総務部
31	<p>【「浅川、湯殿川を結ぶ八王子周回健康ロード」について】</p> <p>浅川のゆったりロードと湯殿川沿いの道を結んで、八王子の中心部を 1 周する健康ロードとして整備してほしい。</p> <p>(高野瀬 明)</p>	<p>健康ロードの整備は良いアイデアだが、浅川と湯殿川を結び、健康ロードを整備するには、一般道との交差が多く、都や警察と調整、協議が必要。今後も関係機関と協議しながら、歩行者や自転車に安全に通行できるように、検討していく。</p>	まちづくり計画部 水循環部 道路事業部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
32	<p>【「路面電車の復活」について】</p> <p>高尾山と多摩御陵、そして八王子駅、これを結ぶ路面電車を作ってはどうか。</p> <p>格安な均一料金にすれば、高尾山の帰りに多摩御陵に寄ってという形で活性化できるのでは。</p> <p>(渡辺 秀幸)</p>	<p>地方ではまだ路面電車が走っていて、大量に人を運んで環境面でも素晴らしいと思うが、費用が莫大にかかる。市のレベルで費用をかけて路面電車を走らせるのは、現実問題として非常に難しい。市には以前、路面電車があったが、採算面でなくなった経緯がある。</p>	まちづくり計画部
33	<p>【公園を四季の花々でいっぱい】</p> <p>公園を花でいっぱい埋めて、観光客を呼び込む公園を考えてほしい。</p> <p>(渡辺 秀幸)</p>	<p>市内にも名所がある。富士森公園、富士見台公園、南浅川緑地のサクラ、片倉城跡公園のショウブやカタクリ、万葉公園のアジサイなど。市全体で周知がされていない部分があると思う。今後情報提供をできるよう検討していきたい。</p>	まちなみ整備部
34	<p>【「防災倉庫の管理」について】</p> <p>市民センター横に防災倉庫があるが、その鍵の管理を地元にかかせてもらいたい。いざというとき、市の職員が来て開ける考え方はおかしい。</p> <p>(松葉 浩充)</p>	<p>備蓄については避難所で生活する方のためのものなので、市が災害時に状況等の把握の上、備蓄品を活用することを前提にしている。他の防災倉庫についても同様の扱いであり、鍵を町会、自治会等に貸与しているところは他にもない。</p>	生活安全部
35	<p>【「防災倉庫の備蓄量」について】</p> <p>備蓄量が少ないのでは。</p> <p>(松葉 浩充)</p>	<p>備蓄は、被害想定に基づいて決定している。まず、自助が重要なことや、コスト面から、全ての市民分を揃えるのは困難。市では、市内の大型店舗と災害協定を結び、物資が不足する場合に備えている。</p>	生活安全部
36	<p>【「長房市民センターの改築」について】</p> <p>長房市民センターは地域全体の避難場所としてはあまりにも狭すぎる。都営団地の整備も進んでいることから、建て直しをしていただきたい。</p> <p>(松葉 浩充)</p>	<p>老朽化が著しいところもあるので、計画的に改修や改築する議論もしていかなければならないと考えている。</p>	市民活動推進部
37	<p>【「観光客の市街地への呼びこみ」について】</p> <p>高尾山の観光客を中心市街地に呼びこむため、ミニバスの運行をしたらどうか。</p> <p>(辰本 俣教)</p>	<p>観光スポットを回遊する観光バスツアーを八王子観光協会で行っている。年間10コースほど運営し、評判もよい。「はちバス」を運行しているが、これは皆さんの利便性という点で行っており、観光という面では今のところ考えていない。</p>	産業振興部 道路事業部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
38	【「まつりの山車」について】 高山市のような山車の展示を、街の中心市街地に設置できないか。 (辰本 俣教)	中心市街地活性化の一つの案として参考としたい。	産業振興部
39	【「街角のお祭り」について】 とうもろこし祭り、まんじゅうまつり、だんご祭りなど、街角の祭りを見直す必要があるのでは。 (辰本 俣教)	現在もだんご祭りとかまんじゅうまつり、しょうが祭は行われている。とうもろこし祭りは戦前に開かれなくなっており、復活は難しい。今もやっている祭りには、ぜひ行って見てほしい。	産業振興部
40	【「地名の表示」について】 小谷横丁だとか馬場横丁、鍛冶屋横丁の道路の地名を街角に掲示したらいいか。 (辰本 俣教)	小谷横丁はみずき通りという愛称名を付け親しまれている。馬場横丁については交差点に石碑が建てられている。地域の名称なので地元の気運が盛り上がれば、市でも検討できる。	道路事業部
41	【「道の駅設置」について】 旧多摩御陵の駅のところを道の駅にできないか。高尾駅の木造の駅舎をもってきて展示して、観光キャンペーンをしたらどうか。 (辰本 俣教)	道の駅八王子滝山は開設から5年を迎え、年間100万人の方が訪れ、10億円の売り上げがある。これは農産物の販売について、地域の農家の方から要望があり、それが成功したもの。地域や団体で要望がまとまって、運営したいというところが出てくれば検討材料になると思うが、今のところ道の駅の建設についての予定はない。	産業振興部
42	【「石平道人の史跡」について】 長房町の長泉寺には、鈴木正三、恵中の墓があり、市の文化財となっている。その前の市道が拡幅される機会にモリアオガエルの道や、松姫通りのように、正三・恵中の道と名付けることはできないか。 (宇田 照彦)	鈴木正三は、本市にゆかりのある江戸初期の優れた思想家として認識しているが、功績等については市民の皆さんに知られていない部分がある。史跡の一つであるので、PRをしていきたい。	産業振興部 生涯学習スポーツ部 道路事業部
43	【「学校選択制」について】 学校選択制で町内会もまとまりがつかなくて困っている。子ども会ひとつとっても、子ども会同士のコミュニケーションができないということもあり、いろいろな面で障害が出ていると思われるので、地域の学校に行くようにしたほうがいいのかなと思う。 (完山 貫一)	東日本大震災のような震災等が発生すると、より地域のつながり、子どもたちとのつながりというのが求められると思う。その辺の実態解明、検証をして、その後議論になろうかと思う。検証の結果を踏まえて、検討していく。	学校教育部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
44	<p>【市の職員はまちへ出て情報収集を】</p> <p>先代の皆さんが苦勞して汚れた浅川の河川敷に桜を植えて、南浅川緑地公園を一生懸命つくり上げた。そういう市民の心を市政としてしっかり受け止めていただきたい。そのためには若い市の職員がもっとまちの中に出て、じかに情報を取ってくるように命じてほしい。</p> <p>(生永 恭博)</p>	<p>職員には常に現場に出向いて、いろいろな情報を得るように指導している。</p> <p>より良いまちをつくっていきたいと思う。</p>	総務部
45	<p>【「いちょう祭り」について】</p> <p>昨年は第 32 回いちょう祭りの際、「昨年の段階で大正 100 年にあたる」と書いてあった。明治 45 年と大正元年が 1912 年なので、大正 100 年は今年 2012 年である。間違いは正してほしい。</p> <p>(捧 良二三)</p>	<p>1912 年の 7 月 30 日に大正になった。いちょう祭りは 11 月なので、それで大正 100 年ということで実施したものと理解している。</p>	市民活動推進部
46	<p>【「中央線の複々線化」について】</p> <p>複々線化は立川まで中央線は来たが、高尾まで是非推進してもらいたい。山梨、相模原・神奈川と連携して大垂水をきちっと自動車とそれから線路のトンネルを造ること。</p> <p>山梨の人を八王子に呼び込むということを考えてほしい。</p> <p>(石川 邦雄)</p>	<p>複々線化については、過去にいろいろな国、東京都に働きかけた時期があった。国の計画はないが、立川以西に延ばすようこれからも要望し続けていきたいと思う。</p>	まちづくり計画部

【東南部地域】

平成 24 年 6 月 9 日（北野事務所）

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
47	<p>【「中途失聴・難聴者に対する配慮」について】</p> <p>「障害者のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」が施行され喜ばしい。今まで比較的顧みられなかった中途失聴・難聴者に対する配慮も今後はよろしく願います。要約筆記の普及にも力をいれていただきたい。市の催しなどには常に私たちも気軽に参加できるよう、OHPなどもつけていただくようお願いしたい。</p> <p>(吉岡 恵美子)</p>	<p>今後、市の催し物については要約筆記や手話通訳など、皆さんが参加しやすいように環境づくりに努めていきたい。</p>	健康福祉部
48	<p>【「磁気ループ設置」について】</p> <p>補聴器をしている者にとって、マイクを通した音を聞くには、磁気ループという設備が必要。新体育館や、大横福祉センターでは、設備工事の際に私達に一度試させてもらいたい。</p> <p>(吉岡 恵美子)</p>	<p>新体育館では、磁気ループではなく、福祉電波 FM 型の難聴者支援装置を導入する予定。なお、導入に際しては障害者団体と調整をしながら進めていく。</p>	生涯学習スポーツ部 健康福祉部
49	<p>【「ホール等の予約抽選」について】</p> <p>会場取りがなかなか難しいという声が多く聞かれる。抽選に行くが、倍率が高くてなかなかとれない。</p> <p>(吉岡 恵美子)</p>	<p>土日はどこもかなり応募が多いので、公平に使っていただけるように抽選になっている。平日や市民ホールなら予約が取りやすいので活用してほしい。</p>	市民活動推進部
50	<p>【「八王子みなみ野駅周辺の全面禁煙」について】</p> <p>駅前のコンビニで喫煙している人が多い。ここは通学路になっており、子どもたちへの受動喫煙に伴う健康被害を心配する声が上がっている。駅周辺を全面禁煙に指定していただきたい。</p> <p>(江頭 和昭)</p>	<p>駅周辺を禁煙とするには、乗降客が5万人という設定があるが、現状を見て、できるかどうか、対応を検討したい。</p>	環境部
51	<p>【「定額で目減りしながら6か月間通用する商品券」について】</p> <p>八王子市が税金として受け入れる定額で目減りしながら6か月間通用する商品券を提案する。</p> <p>(内藤 晃一)</p>	<p>発行についても当然経費がかかり、最初の50円なりはどこかで負担しなければならない。以前に商工会議所、八王子でも商品券を発行したこともあったが、当然その印刷費、その差額をどこが持つのかなどの課題があった。</p>	産業振興部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
52	<p>【「放射能測定」について】</p> <p>教育施設や町の公園、自然公園などでも放射線の数値が高い場所がある可能性があり、子どもの遊ぶ場所や細かい測定調査や土壌調査などがまだまだ必要だと考えている。測定器を持つ市民の力を取り入れてほしい。</p> <p>(久保井 奈美)</p>	<p>昨年11月末から本年2月に、市内の小中学校、保育園、幼稚園、学童保育所あるいは児童館、児童遊園など合計391施設及び公園194か所で測定を行った。</p> <p>現在12か所で定期的に測定を行っているが数値の変化はない。</p>	<p>まちなみ整備部 環境部 学校教育部 健康福祉部 こども家庭部</p>
53	<p>【「給食の放射能測定」について】</p> <p>給食の放射能対策への心配があり、食品の測定に関しても市民測定室の力を借りるなど連携をとってほしい。</p> <p>(久保井 奈美)</p>	<p>食品用の測定機は八王子市保健所内に5月25日に設置し、7月ごろには測定が開始される。認可保育所、認証保育所、幼稚園等を中心に測定を始めていきたい。</p>	<p>学校教育部 健康福祉部 こども家庭部</p>
54	<p>【放射能測定に対して支援を】</p> <p>市民放射能測定室をたちあげたのだが、市のほうからも財政的に援助していただきたい。</p> <p>(西田 照子)</p>	<p>市では、市民企画事業補助金制度という、市内で活動する非営利団体がより良い市民生活の実現のために企画、立案、実施する事業経費の一部を補助する制度があるので、申請していただきたい。審査があるが、補助対象になるということも考えられる。</p>	<p>学校教育部 健康福祉部 こども家庭部 市民活動推進部</p>
55	<p>【「給食の放射能測定」について】</p> <p>保健所の測定機については、一食丸ごと測定に向かない。是非、給食の素材を測ってほしい。一食丸ごとならゲルマニウム半導体の測定器でやっていただきたい。</p> <p>(西田 照子)</p>	<p>国、東京都でもモニタリング調査を実施しているので、安心した食材を給食として提供している。しかし、より安心していただくため、保健所での測定を行う。</p>	<p>学校教育部 健康福祉部 こども家庭部</p>
56	<p>【「町内会活動」について】</p> <p>それぞれの地域での必要性のまちづくり、そして町内会活動、こういったものに対して今、市長の思いをお伺いしたい。</p> <p>(尾川 利吉)</p>	<p>防犯、防災対策や高齢者を支えていくうえで、町会・自治会が果たす役割は非常に大きいと考える。その考えのもと今年度は町会への事務交付金をアップする。</p>	<p>市民活動推進部</p>
57	<p>【「町会会館建設費補助」について】</p> <p>私たちの町会では、会館の建て替え計画を進めている。地域の防災力向上のため災害時に、避難所として活用できるよう耐震性の優れた建物にしたい。そこで、町会への施設整備の補助額をお願いする。</p> <p>(尾川 利吉)</p>	<p>会館の耐震工事は今までも補助対象であったが、町会・自治会の活動を支援するため、6月補正予算で集会施設整備の補助金などを増額する。</p>	<p>市民活動推進部</p>

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
58	<p>【「北野街道の拡幅」について】</p> <p>東京都は、大震災のときの緊急交通路に6路線を指定している。その内の一つの北野街道は、片倉交差点からニュータウンに入る700m区間は、渋滞が激しく、道路幅員も狭い。東京都と調整をして、なるべく早く具体的な方策をとっていただきたい。</p> <p>(尾川 利吉)</p>	<p>北野街道については、以前から東京都へ要望をしてきたが、沿道にはかなりしっかりした建物があり、用地取得などの問題もあって、早期整備は難しい。しかし、拡幅整備に向けて引き続き東京都にしっかりと要望していきたい。</p>	まちづくり計画部
59	<p>【「美山街道の整備」について】</p> <p>通称美山街道は昔からダンプ街道と言われて、非常に交通量が多くて危険な街道である。日中、ダンプやバスが通り、相互通行できない箇所もある。是非改修を進めてほしい。</p> <p>(石田 章)</p>	<p>平成23年度には小田野交差点から元木橋の区画が完成し、引き続きその先に着手する。元木橋から元木町会境まで、歩道も含めた道路整備のため、用地買収を進めている。相互通行できない部分もこの区画の中になるので、ここも整備する。スムーズに行けば3年くらいで完成する。</p>	道路事業部
60	<p>【「商店街の活性化」について】</p> <p>巣鴨のとげぬき地蔵の商店街のようなものが八王子にもできないか。八王子には神社仏閣が非常に多いのだから、地元の方にもお願いして是非やっていただきたい。</p> <p>(石田 章)</p>	<p>例えば八王子駅周辺のおわら風の舞とか、西八駅付近の踊れ西八夏まつり、あるいは高尾駅周辺の高尾山若葉まつりなど、様々な祭りが市内全域で59件、イベントとして行っている。そういうものを視野に入れて、活性化に向けて引き続き取り組んでいきたい。</p>	産業振興部
61	<p>【「震災ガレキの受入れ」について】</p> <p>石森市長にも是非協力してやってほしい。八王子は数十万トン受入れたというビックニュースを聞きたい。</p> <p>(石田 章)</p>	<p>ガレキの受入れは既に内部では決定している。宮城県の女川町の方で、既に東京都が昨年、10万トン受入れると表明していて、市長会でもできるだけ受入れていこうという方向が出ている。来年の1月～2月にかけて500トン、八王子でも受入れを開始する。炉の関係でその時期にならないと受入れができない。それ以降はまた検討していきたい。</p>	環境部
62	<p>【「非行・犯罪の防止」について】</p> <p>42年間、少年院、刑務所で再犯防止の教育をしてきた。その経験のもと、罪を犯さないように予防教育の活動をしている。さらに多くの学校に講演ができるように配慮していただければありがたい。</p> <p>(中村 弘二)</p>	<p>経験を活かして、八王子の子どもたちのためには是非、講演等をお願いできればありがたい。次世代の子どもたちの健全育成は最重要課題であり、市としてもしっかりと取り組んでいきたいと思う。行政のほうからも声掛けをさせていただくので、積極的にご協力いただければありがたい。</p>	こども家庭部 学校教育部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
63	<p>【「地域のコミュニティ」について】</p> <p>弱者緊急時対応が行政など公的機関に求められている。八王子市の地域社会はどうあるべきとお考えか、将来を見据えた方向性を教えていただきたい。</p> <p>(荒木 勉)</p>	<p>個人情報保護という問題があって、地域の支援については非常に難しいという面もある。人命保護のため、緊急かつやむを得ない場合については行政が保有する個人情報を提出することは可能だが、平常時においては、高齢者、障害者のリストを本人の承諾なしには第三者に渡せないという問題がある。このことから「災害時要援護者避難支援地域実施マニュアル」を策定し、緊急時のSOS対象者、災害時に支援が必要な方々の情報を事前にまとめておくことなど、地域の方々に災害時避難を担ってもらおう共助のしくみづくりのための手引きとした。</p>	健康福祉部
64	<p>【「災害時の緊急対応」について】</p> <p>災害時の緊急対策について具体的に教えていただきたい。</p> <p>(荒木 勉)</p>	<p>災害対策の基本的な指針となる八王子市地域防災計画のもとに災害対応をしている。東京都において、首都直下型地震などの被害想定が公表されたので、平成25年度中の公表に向けて、地域防災計画の見直しに着手をしている。自助、共助、公助、それぞれの防災力強化とさらなる連携、耐震性を備えたまちづくり、帰宅困難者対策強化、女性の視点に立った災害対策、東日本大震災から得た課題や教訓を反映したものとする予定。</p> <p>避難所については、小中学校や市民センターなど135か所があり、避難所には食料、毛布、トイレなども備蓄している。</p>	生活安全部
65	<p>【「高齢者の買物不便」について】</p> <p>長崎屋、そごうがなくなり高齢者が買物に行ける場がなくなった。中心市街地のまちづくりを進める中でご検討願いたい。</p> <p>(原 正教)</p>	<p>JR八王子駅周辺の活性化については、セレオが秋口にはオープンする。そごう以上に集客力があるのではないかと考えているので、もう少しお待ち願いたい。</p>	産業振興部
66	<p>【「八王子駅周辺のバスルート」について】</p> <p>神奈川中央バスを北口に路線延長してもらいたい。コミュニティバスの路線がないので、そういう方面でも是非ご検討いただければ。</p> <p>(原 正教)</p>	<p>南口の再開発が完了してバスが南口止まりになり、北口方面に人が行かないという話があり、市でも調査をしたが、現実的には利用者がほとんどいなかった。</p>	まちづくり計画部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
67	<p>【地場産業を育てる工夫を】</p> <p>雇用確保のため、地場産業をもう少し育てて欲しい。太陽光発電とかその他いろいろな面で是非いろんな補助をしていただきたい。</p> <p>(原 正教)</p>	<p>雇用対策はこれまでも実施しており、今年度は雇用対策として5億1千万を予算措置した。特に、スーパーサポート・ゼロという中小企業に対しての無利子融資を創設した。何とか中小企業に頑張ってもらおうという制度だが、応募が多く、補正予算を組んだ。あわせて、若者と市内企業の出会いの場として、若者就職面接会 in 八王子を開催する。また企業誘致を図るため、いきいき企業支援条例によって、固定資産税などの税相当額を奨励金として交付したり、進出企業が八王子の建設業者を利用した場合の加算金を出すなど支援している。</p>	産業振興部

【西部地域】

平成 24 年 6 月 23 日（恩方市民センター）

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
68	<p>【夕やけ小やけふれあいの里で水力発電を】</p> <p>再生可能な水エネルギーの生産適地は夕やけ小やけふれあいの里が一番いいと考えている。園内の電気は発電で全部賄ったうえ、夜間電力を蓄電し、地域経済への投入を図りたい。</p> <p style="text-align: right;">（小杉 陽一）</p>	<p>本市としても再生可能エネルギーを取り入れていかなければならない。どんなエネルギーが八王子にとって有効で活用できるかを検討していく。夕やけ小やけふれあいの里での水力発電については、水量などいろいろな問題もあって、難しい面があるかと思うが、水力発電も再生可能エネルギーとして検討する。</p>	環境部
69	<p>【「歴史道の設置」について】</p> <p>戦国時代の事跡が多く埋もれている。観光資源と抱き合わせ、歴史観光として地域振興の足がかりにしてはどうか。例えば、松姫様の歴史散歩道で夕やけ小やけふれあいの里へ観光客を誘致するというような。</p> <p style="text-align: right;">（小杉 陽一）</p>	<p>各地域での歴史的事柄をまちづくりに取り入れるのは重要と思う。このたび、市内の史跡や公園を巡るイラストマップを作成した。これを利用して、ご意見ご要望をいただきたい。</p>	産業振興部 生涯学習スポーツ部
70	<p>【「秋川・陣馬街道沿いの市街化調整区域の見直し」について】</p> <p>上川地域の秋川街道沿いでは調整区域だけでなく農振地域もあり、二重の網がかかっている。純粋な専業農家もいなくなり、後継者もいない、高齢化と過疎化が進んでいる地域だ。買い物難民が増えたり、病院へ通う人が困難を極めたりしている。きめ細かい見直しについて聞きたい。</p> <p style="text-align: right;">（石橋 亨）</p>	<p>調整区域で人口減が非常に顕著であり、一度見直しをしていこうと今回、調査費を補正で組んだ。調整を解除していく前提で少しお話を進めていきたい。対象区域が裏高尾、小津、上恩方、上川、高月、美山の沿道集落地区が対象となる。地域に行政が赴き、いろいろな調整をさせていただきたい。</p> <p>農振地域の解除を国にも働きかけをしたことがあるが、なかなか思うようにいかないのが実態。引き続き国に対してもその解除に向けて取り組んでいきたい。</p>	まちづくり計画部 産業振興部
71	<p>【「北西部の新しいまちづくり」について】</p> <p>圏央道の西インターのフル化や、北西部幹線、南バイパスの連携などが整備され、川口物流センターの建設の条件が整ってきた。北西部のまちづくりについて聞きたい。</p> <p style="text-align: right;">（石橋 亨）</p>	<p>八王子西インターは、スマートインターを利用したフル機能化を検討している。物流拠点は東京都でも、しっかり位置付けがされている。国、東京都と連携を図りながら、フル機能化を実現させていきたい。</p>	まちづくり計画部
72	<p>【「圏央道上川橋の高架下の公園」について】</p> <p>圏央道上川橋の高架下に公園を作ってほしい。</p> <p style="text-align: right;">（石橋 亨）</p>	<p>すでに、まちの広場や自転車駐車場が整備済であるが、もしそれでも不十分であれば、調整したい。</p>	まちなみ整備部 まちづくり計画部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
73	<p>【「北浅川歩道橋架設」について】</p> <p>北浅川に地元で架けた歩道橋について、危険性がある手づくり橋についての問題、解決を願う。</p> <p>(坂本 好夫)</p>	<p>市で橋を架けるというのは非常に難しい。上流の陵北大橋と下流の松枝橋との間が非常に長いので、その間のどこかに架けるといふことであれば可能性はあるが、あの場所に新たに市として作るというのは非常に課題が多く、現状難しい。</p>	まちづくり計画部
74	<p>【「地域の文化講演会への講師派遣」について】</p> <p>地域で行っている講演会について、講師の斡旋に市の協力、指導をいただきたい。</p> <p>(坂本 好夫)</p>	<p>市では、講師依頼があれば出前講座として派遣ができるので、市へお尋ねを。文化財課や市史編さん室などができるだけ対応する。</p>	生涯学習スポーツ部 総合政策部
75	<p>【和田峠を文化財保全と観光のメッカに】</p> <p>観光の開発の一助になる。和田峠を文化財の保全と観光のメッカにしたいと思っている。市の協力、指導を。</p> <p>(坂本 好夫)</p>	<p>八王子の峠なのでくわしく話を聞いた上で、ですから何らかの活用ができればと思う。</p>	生涯学習スポーツ部
76	<p>【「高尾駅の開発」について】</p> <p>10 数年前に高尾駅の開発について質問してから現在のままである。高尾駅を高尾山開発の拠点としてはどうか。北口の開発は駅の橋上化と共にお願いしたい。</p> <p>(後藤 孔滋)</p>	<p>このほど高尾駅周辺整備基金を設立した。平成 21 年にどの程度の費用がかかるか JR に一回試算をしてもらったが、橋上駅舎と自由通路が概ね 75~90 億円、駅前広場を含めてトータルで 126 億円ということだった。とても市で受けられる金額ではないので、再度検討させている。何とか実現に向けて調整していきたい。駅前広場もこれから買収に入る</p>	まちづくり計画部
77	<p>【「圏央道八王子西インターのフルインター化」について】</p> <p>早期にフルインター化を進めてもらいたい。</p> <p>(森原 清明)</p>	<p>東京都や国と調整しており、6月補正で調査費を計上した。できるだけ早くとにかく作る。その一步を踏み出した。概ね2年くらいを目途に完成に結び付けたい。</p>	まちづくり計画部
78	<p>【「道の駅による、地場産業の振興と西部地域の活性化」について】</p> <p>近隣に道の駅を開設し、地場産業の振興と西部地域の活性化を図ってほしい。</p> <p>(森原 清明)</p>	<p>道の駅は、地域でやりたいという気運が必要。インターがフル化されれば、商業施設や企業によって活性化につながっていくと思う。</p>	産業振興部
79	<p>【「物流拠点整備」について】</p> <p>川口地区のストックヤード計画については、文化施設やイベントホール、博物館、植物園などにして、緑の保全に努めてほしい。</p> <p>(森原 清明)</p>	<p>基本的には東京都の物流拠点と位置づけられており、大きく変えることは不可能。ただ、自然を残して一部を物流拠点とする整備をしていきたい。</p>	まちづくり計画部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
80	<p>【森林を活かした産業を】</p> <p>八王子の森林を活かし、薪や炭を家庭や施設、飲食店などで調理に利用してはどうか。</p> <p>震災被災地で屋台村ができたというニュースがあったが、八王子でも炭火焼きの屋台村などができれば人々が集まり絆が深まるのでは。</p> <p>また、木造住宅の促進などの検討を。</p> <p>(早川 百合枝)</p>	<p>八王子は豊かな森林があるので次世代につなげていきたい。</p> <p>木材については、多摩産材の需要が増えている。</p> <p>炭の利用については、行政としては難しいので、商工会議所とも相談したい。</p>	産業振興部
81	<p>【「作文コンクール開催」について】</p> <p>あきる野市の私立小学校へ通っている小学2年生。あきる野市が主催した作文コンクールで表彰された。</p> <p>都のコンクールでも都知事から表彰状をもらった。八王子市も作文コンクールを開催してほしい。もし、やっているのならもっと分かるように広めてほしい。</p> <p>(柴田 英寿)</p>	<p>八王子でも作文コンクールはやっている。例えば、犯罪や非行のない社会をつくることや税金についての作文のコンクールなどがある。市外に通学している方にはなかなか知られないということもあるだろうから、できるだけ広報等で目に見えるようにPRをする。</p>	学校教育部
82	<p>【「安心して出産・子育てができる施設設置」について】</p> <p>知人が双子を妊娠したが、八王子市内の産院では出産できなかった。二つの大学病院があるのに、八王子で出産できないのはどうかと思う。出産や子育てにやさしい環境づくりをすれば、さらに新しい人も八王子に入って来る。市長の考えを。</p> <p>(前原 教久)</p>	<p>実態として産科、小児科は、慢性的に不足しているという、全国的な問題がある。例えば双子の出産など、危険が伴う場合には周産期医療ということになり、八王子では対応が難しい。専門知識をもった新生児科のドクターや看護師が必要。市内の、二つの中核病院には高度医療の体制を整えるよう要望を続けていく。</p>	健康福祉部
83	<p>【「上川町に自然公園の設置」について】</p> <p>4年前突然上川町に最終処分場ができると聞き、自然を守ろうと立ち上がった。議会や市も協力して公有化された。この自然を守っていくため、市の100周年記念事業として自然公園とするよう基本構想・計画に入れてほしい。</p> <p>(奥住 愛次郎)</p>	<p>上川町の土地は地元の皆さんの強い後押しがあつて公有化できた。基本構想・基本計画には具体的なことは入れることはできないが地元との協力のうえ、しっかり自然を守るという意味で、市として対応していく。</p>	環境部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
84	<p>【「山間過疎地の公共交通」について】</p> <p>小津町では平成 18 年度に路線バスが撤退後、市の補助金を受け、町会運営バスを運行してきたが、地元負担金が非常に重荷になってきた。住民負担のない、公共交通機関を望んでいるが、市長の考えは。</p> <p>(小山 晴彦)</p>	<p>平成 19 年度から地域のバスの運行をしてきたが、国の補助がなくなり負担が増えたことは理解している。公共交通を通したいのだが、市全体にこうした問題があるので、一地域のみを要望を叶えるのは難しい。ルートとか便数などを地域で調整・検討していただき、市としても協議していきたい。</p>	まちづくり計画部
85	<p>【「北西部幹線道路の見直し」について】</p> <p>川口町～犬目町の掘割は幅員が狭く、災害時には通行できない。八王子市洪水ハザードマップを委ねると掘割部はいち早く冠水する恐れがある。事業費 440 億円は市の財政に影響が大きい。以上の理由から、道路計画の見直しを求める。</p> <p>(森屋 誠)</p>	<p>北西部は道路網が不足している。交通環境の改善の意味で必要。掘り割りについては、事業を始める前に測量・調査を綿密に行う。水害についても十分検討する。事業費については現時点では試算。</p>	まちづくり計画部
86	<p>【「荒廃した雑木林の整備」について】</p> <p>八王子が持っている 140ha の里山が藪になってしまい、イノシシやアライグマが出て来て、農作物を食い荒らす。農家はやる気が失せている。市としてどう考えているのか。</p> <p>(秋山 作二)</p>	<p>里山に入る方、農業者が減っており、里山の管理されていない。ご指摘の里山は物流拠点の一角だと思うが、下刈りをしていきたい。なお、民地については、林野庁の事業によって税制上の優遇措置や低利子融資・交付金などの支援がある。</p>	産業振興部 環境部
87	<p>【「市立小・中学校適正配置推進計画の見直し」について】</p> <p>推進計画で上川口小と恩方第二小がなくなるとなっているが、近隣の学校へ通うとなると通学路が非常に長くなってしまふ。いちばん西端にある二校を廃校にするのはどうなのか。130 年以上続いていた学校を存続してもらいたい。推進計画からはずしてもらいたい。</p> <p>(浅野 一郎)</p>	<p>ある程度の人数で切磋琢磨していくことも教育上よい面がある。ただ、歴史ある学校でもあり、残したいとも思うが。6 月補正で学校選択制の検証を図るとした。検証結果をもとにして、適正化を含めて配置を検討したい。</p>	学校教育部

【東部地域】

平成 24 年 6 月 30 日 (由木中央市民センター)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
88	<p>【なぜ、No.1 の八王子を目指し、中核市を目指すのか】</p> <p>八王子は衰退している、お金がないのになぜNo.1 を目指し、今になって中核都市なのか。</p> <p>(前田 昭)</p>	<p>より良い市民サービスを提供するためには、本市がNo.1 を目指すことや、地方分権の流れの中でより多くの権限を持つことができる中核市に移行することが必要と考える。中核市への移行は2年後を目途に都と調整をしている。</p> <p>八王子のまちは確かにデパートの撤退によるマイナス要因はある。商圈というかまちとして広いため、以前のように八王子駅周辺に集中するということとはなくなってきた。しかし八王子駅は本市の顔。そのため八王子駅周辺のまちづくりを進めていく。</p>	<p>総合政策部 産業振興部 まちなみ整備部</p>
89	<p>【「政治力と経済力」について】</p> <p>八王子市の政治力・経済力はどうか。</p> <p>(前田 昭)</p>	<p>市議会議員も地域の実情をよく把握して、八王子市政に反映してくれている。現在、良いまちをつくるため行政と経済界と商工会議所が連携を強め同じ方向を向いて取り組んでいる。これからも、しっかりと進めていきたい。</p>	<p>総合政策部</p>
90	<p>【「職員の人件費」について】</p> <p>職員は人件費に見合う仕事をしているのか。</p> <p>(奥田 真吾)</p>	<p>職員を削減してきた一方で、一人当たりの業務量は以前よりはるかに増えている。人件費についても、国や都の調査結果を参考に決定し、市議会の決定を受けている。</p>	<p>総務部</p>
91	<p>【「子育て支援」について】</p> <p>保育園になかなか入れない。</p> <p>(奥田 真吾)</p>	<p>待機児童は0～2歳児が圧倒的に多い。そのため施設整備を進めており、これからも引き続き努力していく。</p>	<p>こども家庭部</p>
92	<p>【「障害者の雇用」について】</p> <p>障害者の雇用が進んでいない。</p> <p>(奥田 真吾)</p>	<p>八王子では57名の障害をもった職員がいる。障害者雇用促進法では雇用率2.1パーセント以上と規定しているが、市ではそれを上回る2.22パーセントである。</p>	<p>総務部 健康福祉部</p>
93	<p>【「職員のタトゥー」について】</p> <p>職員のタトゥーについてどう考える。</p> <p>(奥田 真吾)</p>	<p>市の職員は、していないと思う。</p>	<p>総務部</p>
94	<p>【「震災ガレキの受け入れ」について】</p> <p>震災ガレキは積極的に受け入れるべき。</p> <p>(奥田 真吾)</p>	<p>内部的に受け入れは決定している。日の出町の住民への説明会を開き、来年の1～2月に女川町のガレキを500トン受け入れる。</p>	<p>環境部</p>

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
95	<p>【「通学路の安全確保」について】</p> <p>児童生徒を安全で登下校できるような環境をつくりたい。通学路の植え込み伐採や枝の伐採を、適宜やってほしい。これからもそういう状況は継続してほしい。</p> <p>(淡路 二正)</p>	<p>樹木の刈り込みは、可能な限り計画を立てて行っていきたい。今後も引き続き行っていきたい。</p>	道路事業部
96	<p>【「犯罪防止対策」について】</p> <p>犯罪防止に向けて、警察による定期的または随時のパトロールをお願いしたい。</p> <p>安心で安全なまちづくりに向け、官民協力して、良いまちを作っていきたい。</p> <p>(淡路 二正)</p>	<p>南大沢警察署が平成 21 年 4 月の開署以降、地域パトロールの強化をお願いしている。毎日のように自転車や徒歩によるパトロールを実施しており、今後もお願いしていく。防犯は地域全体で進めていかなければいけない。地域の町会、自治会等で継続してパトロールができれば、より犯罪の件数は減っていくと思う。</p>	生活安産部
97	<p>【「若者の就業支援」について】</p> <p>補正予算 21 億円のうち、若年者の就業支援へのくらい手当できるか。市が支援している八王子市民活動協議会も 70 団体が志高く活動している。そうした NPO 団体が学生を受け入れてそしてインターンシップをやれば、彼らの社会性とかコミュニケーションとか社会人基礎力とかが付いて、民間企業への就職のステップアップにつながるのでは。</p> <p>このような NPO 団体に対し、研究費を出していただけないか。</p> <p>(平井 茂樹)</p>	<p>学生の就職難はここ数年厳しい状況にあり、就職しても 3 年以内に 3 割が離職するという問題も抱えている。できるだけマッチングをしていくというのは、行政としても大変重要だろうと思っている。予算では、雇用対策を行政ともしっかり対応しなければならないと思っている。ウェブサイトを立ち上げて企業と学生とのマッチングをしていきたい。インターンシップに対しての補助というのは考えてはいないが、市民企画事業補助金制度があるので、審査はあるが、これを利用してもらいたい。</p>	市民活動推進部 産業振興部
98	<p>【市内名所のガイドに QR コードを】</p> <p>高尾山などにある案内板に QR コードを付けて、携帯電話を使って障害者や外国人が情報を得られるような技術を開発して。</p> <p>(宮本 一郎)</p>	<p>高尾山など、市内 21 か所の観光案内看板に掲載している二次元コードを携帯電話で読み取ると、観光地ゆかりのキャラクターが観光地を解説する動画をご覧いただける。QR コードも視覚障害者によって有効な説明方法と考える。今後も外国人や障害のある方へのサービス向上に向け、研究していく。</p>	産業振興部
99	<p>【「文字表示装置の設置」について】</p> <p>災害時に聴覚障害者や外国人が情報を得やすい文字表示装置を備え、いざというとき避難所へ搬入できるようにしてもらいたい。</p> <p>(宮本 一郎)</p>	<p>電源確保などの課題があることから、文字表示装置の導入の予定はないが、現在、ツイッターやフェイスブックの導入を検討している。避難所での情報伝達についてはホワイトボードを使用した情報</p>	生活安全部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
		提供など、機器に頼らない方法を活用して対応していきたい。	
100	<p>【「コミュニケーション支援派遣の無料継続」について】</p> <p>障害者のために、手話通訳などのコミュニケーション支援派遣について、引き続き無料の支援をお願いします。</p> <p>(宮本 一郎)</p>	手話通訳者などの派遣については、無料化を継続していきたい。	健康福祉部
101	<p>【「民生委員からのコミュニケーション支援派遣の申し込み」について】</p> <p>現在、手話通訳派遣を支援してもらうためには、聴覚障害者から依頼しているが、民生委員が、聴覚障害者を訪問することもあるのですが、民生委員からも依頼ができるようにしてほしい。</p> <p>(宮本 一郎)</p>	コミュニケーション支援は聴覚障害者の支援を目的としているため、民生委員と視覚者の双方の意思により支援が必要とされる場合でも、聴覚障害者本人の申請に基づく派遣制度になっている。民生委員からの派遣依頼については対象とはならないが、支援が必要な場合には、民生委員を担当する所管とお話したい。	健康福祉部
102	<p>【JR八王子駅北口駐車場に地下名店街を】</p> <p>地下駐車場を利用して、30~40店舗が入る名店地下街をつくってほしい。</p> <p>(真次 弘)</p>	地下駐車場の位置づけで建築確認をとって駐車場が出来上がっていることから、商業施設を作ることはできない。もし作るとしたら天井の高さを上げたり、いろんな調整をしないといけない。大掛かりな工事になってしまうので、基本的には難しいと思っている。	道路事業部
103	<p>【滝山城跡を四季の花々の公園に】</p> <p>滝山城跡公園を四季の花々で一年中魅力ある公園にしてほしい。滝山の良い所は、インターチェンジに近いこと。多摩川河川敷に駐車場を作り、近隣の各県の方々がバス旅行に来れるような魅力ある公園にしてほしい。</p> <p>(真次 弘)</p>	滝山城跡は、春の桜の時はたくさんの方が訪れる。できれば一年中多くの方が訪れるようにしたい。都立公園なので、東京都に提案したい。駐車場の場所については、今後都と折衝していきたい。	生涯学習スポーツ部 まちなみ整備部 産業振興部
104	<p>【「和田峠のトンネル化」について】</p> <p>上野原と陣馬街道を結ぶ和田峠をトンネルでつないでほしい。中央自動車道のバイパスになり経済的にも利益が出るのでは。</p> <p>(真次 弘)</p>	圏央道が建設されたり、高尾山インターチェンジができたりしている現況のなか、和田峠にまで建設に及ぶというのは、東京都も難しい状況にある。	まちづくり計画部
105	<p>【由木にも光をあてた市政を】</p> <p>合併時の問題にこだわらず、由木の方へ光をあてた市政を進めてほしい。</p>	多摩ニュータウンも40年が経過し、少子高齢化、建物の老朽化への対応が課題となっている。新しい方を迎える施策展	総合政策部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
	(平野 雄司)	開が必要。業務用地も残っているので、企業誘致を確実に進め、雇用を確保することで八王子の活性化につなげるなど由木地域についてもしっかりと見ていきたい。	
106	【「八王子ブランドの創出」について】 野菜などの八王子ブランドを立ち上げてはいかがか。市がリーダーシップをとって、農家の人たちから意見を聞いたり、ブランドづくりの基準をつくったり、そういった役割を担ってほしい。 (大沼 一夫)	八王子のブランドは、農産物については幾つかあり、道の駅で販売している。八王子では和菓子が八王子独自のものが結構あり、先日、八王子駅の近くで、「和菓子の日」出張イベントを行い、多くの来場者があった。	産業振興部
107	【「アンテナショップ」について】 アンテナショップを都内に開設して、物産品の販売とか、観光情報やイベント情報の発信などをしてはどうか。 (大沼 一夫)	道の駅八王子で八王子ブランドのものや名産品を販売している。さらに、観光案内所をJR八王子駅に設置し、八王子の名産品をPR 又は紹介できるようなスペースも設ける予定。引き続き八王子の物を広くPRしていく。	産業振興部
108	【「エネルギー自給率の現状」について】 本市のエネルギー自給率に関して、現状はどうなっているのか。 (遠藤 和生)	本市のエネルギー自給率に関して、数値は把握をしていない。	環境部
109	【「エネルギー自給率施策」について】 自然条件や居住条件を活かしたエネルギー自給率向上に向けた八王子市としての施策は。 (遠藤 和生)	6月補正予算に組んだが、再生可能エネルギーの潜在的な量や利用可能量について、調査を行い、それを基に今後どう進めていくか検討したい。	環境部
110	【「学校への太陽光発電の設置」について】 学校の屋上に太陽光発電のパネルを設置するのは、現実的な施策ではないか。 (遠藤 和生)	現在、七国小学校、七国中学校、八王子駅南口のとの木デッキ、戸吹のクリーンセンター等7か所に設置している。できるだけ小中学校の屋上にパネルを設置する。早い時期に進めていきたい。	環境部
111	【「集合住宅への太陽光発電の設置」について】 集合住宅の屋上に太陽光パネルの設置を積極的に進めることにより、エネルギー自給率が向上するのではないか。 (遠藤 和生)	太陽エネルギー等利用機器設置費補助制度があり、本市では1キロワットあたり3万円を補助している。上限が10万円だが、国や都も補助があるので、利用していただきたい。	環境部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
112	<p>【「青少対の地域清掃活動」について】</p> <p>青少対活動の地域清掃はコミュニケーションの場として最適。私も地域の人たちとかなり知り合いになった。防犯・防災などいろいろ輪が広がる。もっと宣伝してほしい。</p> <p>(白水 嘉奈子)</p>	<p>青少対活動は、地域の皆さん方がメンバーになって地域のつながりによって青少年を犯罪から守る非常に重要な組織だと思っている。できるだけ周知に努め、多くの方に青少対活動に参加していただけるよう取り組む。</p>	こども家庭部
113	<p>【「公認グランドゴルフコースの設置」について】</p> <p>来年の多摩国体のデモスポ行事でグランドゴルフが行われる。その一環として日本グラウンド・ゴルフ協会の公認コースを設置していただきたい。将来、宿泊施設を設け、中高年を安く宿泊させることも考えていただきたい。</p> <p>(中村 史朗)</p>	<p>グランドゴルフは、最近、競技人口が増加しており、国体のデモスポ競技にもなっているが、新たに専用コースを設置することは非常に難しい状況である。</p>	生涯学習スポーツ部
114	<p>【「道路の冠水」について】</p> <p>三本松交差点は年数回浸水する。排水溝が落ち葉でつまってしまうことが原因。有償アドプト制度を導入して、除去してはどうか。</p> <p>(中村 史朗)</p>	<p>この道路の集水枡の清掃は住宅都市整備公社に委託しており、大雨情報が出たときは、市の職員も清掃している。落葉対策用のグレーチングを設置するなど対策を進めていく。アドプトは、車道は非常に危険なので、作業は禁止している。</p>	道路事業部
115	<p>【「樹木の管理」について】</p> <p>通学路の樹木の枝が、台風によって多数散乱する。遊歩道、通学路のチェックをして、枯れ枝の処理をしてほしい。</p> <p>(中村 史朗)</p>	<p>委託業者によるパトロールにあわせて、台風時には市の職員が引き続き見回りをして、危険がないようにする。</p>	道路事業部 まちなみ整備部
116	<p>【「くらしの便利帳には最新情報の掲載を】</p> <p>くらしの便利帳には、1万5千年前の石器が発見と書いてあるが、実際には3万2千年前のものが見つかっている。最新情報を書くべきではないか。</p> <p>(武藤 真啓)</p>	<p>次回のくらしの便利帳を作成する際、新しい情報を入れていきたい。</p>	生涯学習スポーツ部
117	<p>【「史跡の案内板を公園や駅に】</p> <p>駅や公園などに、ここで土器などが発見されたなどの案内板を作っては。</p> <p>(武藤 真啓)</p>	<p>重要な文化財の解説看板は設置している。環境が変わっているところもあるが、設置可能な所にはできるだけ設置を検討していきたい。</p>	生涯学習スポーツ部
118	<p>【「博物館の建設」について】</p> <p>博物館を八王子につくっていただきたい。相模原では、富士山からの泥流や、噴火した火山灰などを、子どもたちにも分かるような形で展示しているので、検討してほしい。</p> <p>(武藤 真啓)</p>	<p>現在の郷土資料館は老朽化しており、新たな資料館を建設しなければならない。博物館機能も取り入れた資料館をつくってほしい。</p>	生涯学習スポーツ部

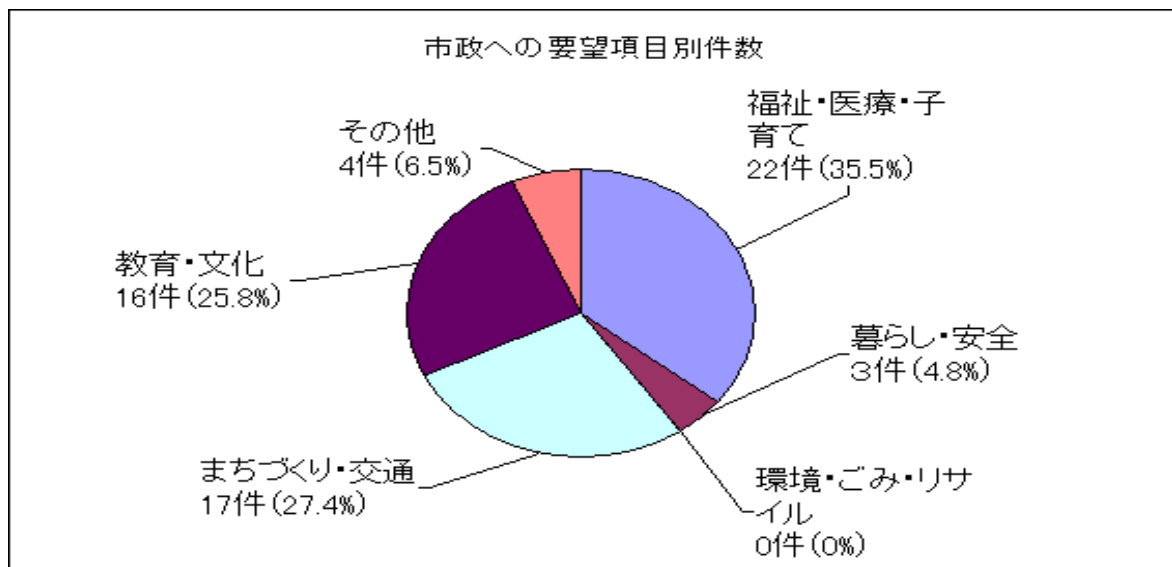
6. 過去の提案等取り組み状況

(平成23年度は、東日本大震災の影響で見送りとなったため、資料は22年度のものになっています)

平成22年度”タウンミーティング「市長と語る」”提案等取り組み状況

テーマ 子どもの笑顔は地域の笑顔 ～みんなで支える子育て・子育て～
各会場の実績

開催日	会場	地域	地区	子育て 福祉・医療・ 子育て	暮らし・安全	環境・ごみ・リサイクル	まちづくり・交通	教育・文化	その他	合計
5月15日	子安市民センター	中央	本 庁	4	0	0	4	1	1	10
5月29日	南大沢中学校	東 部	由 木 由 木 東 南 大 沢	2	0	0	3	5	1	11
6月5日	由井市民センター	東南部	由 井 北 野	6	0	0	5	4	0	15
6月12日	横山南市民センター	西南部	浅 川 横 山 館	5	0	0	4	2	0	11
6月19日	川口市民センター	西 部	元八王子 恩 方 川 口	2	1	0	1	2	2	8
6月26日	石川市民センター	北 部	加 住 石 川	3	2	0	0	2	0	7
合 計				22	3	0	17	16	4	62



ご意見・ご提案をいただいたその後の取り組み状況の一例をご報告すると……

＜意見＞ 《子どもの読書について①「読書のまち八王子」②ブックスタート③司書教諭について》

- ①「読書のまち八王子」は二期目に入った計画と聞くが、広く市民に浸透していない。もっとみんなに知らせてほしい。
- ②現在、ブックスタートのボランティアをしている。生後 3～4 か月、色々なことがわかり始めたその時期に、子どもたちと心のつながりを持ってほしい。その一つとしてブックスタートがある。参加された保護者に大変喜ばれて効果を上げている。わらべ歌や子守唄の DVD は八王子の図書館の売りだと思ふ。予算的に本当に大変なのはわかるが、ぜひ続けてほしい。
- ③幼児期は比較的絵本に接する機会があるが、学校ではどうかというと、学校図書館法で司書教諭を置くことになっているが、残念ながら八王子では設置されていないと思ふ。どんな形でもいいので司書教諭をおくことを考えてほしい。

(山田 久代 様)

- ＜市長＞
- ①「読書のまち八王子」の PR が少し足りないことは、率直に反省し、今度は第二期に入るので、しっかり PR していきたい。
 - ②ブックスタートは、3～4 か月の検診のときに、お母さんが読み聞かせるような本や DVD、赤ちゃんが喜ぶふれあい遊びなどが掲載されている本を一式差し上げている。今年で 3 年目になるが、これまで 8,200 名を越える方々に配付した。財政は厳しいがこの事業は続けるので、これからもボランティアの御協力をよろしくお願ひしたい。
 - ③学校に司書を置かなければいけないという法律は守っている。小学校は全校司書教諭を配置しているが、実は専任の方が少ない。専任の司書教諭を配置することは、私も取り組みたい課題だと思っている。ただ、人件費はすべて市の負担になるので、現在の財政状況の中では専任の司書を置くこと、拡大をすることは無理だが、このことはしっかり頭に入れておき、財政状況を見ながら取り組みたいので時間をいただきたい。

【対応】

- ① PR については、(1) 第二次計画初年度の 22 年度に行った国民読書年記念フォーラムの開催を機に、毎年読書週間にボランティア団体等によるワークショップを行うなどして、内外に広く PR している。(2) 小 P 連主催の読書のまち推進コンクールに協力し、入選作品を各図書館で 4 か月にわたり展示した。(3) 図書館ホームページに「読書のまち八王子」について掲載するなど広く PR している。

②平成 24 年度についても継続し、市民ボランティアとの協働により実施する。

③司書教諭は、学校図書館法により 12 学級以上の学校に置くこととされており、本市では、同法に基づき、必要とされるすべての小・中学校(計 75 校)に司書教諭を配置している。専任の司書の配置の有無は自治体により様々だが、本市では司書を配置するのではなく、ボランティアの学校図書館読書指導員の配置を進め、読書活動の活性化を図っている。また、平成 22 年度より学校図書館サポート事業を開始し、学校図書館サポーターを学校に派遣し、学校図書館活性化のための支援を行っている。

＜意見＞ 《待機児童、幼稚園と保育園一元化について》

私自身にも2歳の子どもがいて、先程市長が言った待機児童の解消をするために、ニュースで「国としては、いま幼稚園と保育園を一本化して、幼稚園も保育体制を徐々に保育園に近づくような形になっていく。」と言っていた。ただ、実施されるのが5年後とのことなので、今の私の状況ではあまり関係なくなる。市は「子育てしやすいナンバーワン」のまちを掲げるのなら、もっと前倒しして、対策をもう少し具体的にできないのかと思うが、その点で何か考えていることはないか。

(宮本 明里 様)

＜市長＞ 待機児を抱えておられることは、申し訳なく思う。市は毎年取り組んでいるが、新園をつくっても1園つくると、その周辺で需要を喚起するので実際に待機児の解消につながるのは半分以下でなかなか減らない。私も幼稚園と保育園の一元化はやらなければいけないと思う。長妻大臣にも直接お話をし、強く要望した。それができれば、待機児はゼロになる。なぜ簡単にできないのかというと、幼稚園は文部科学省の所管で、保育園は厚生労働省であるため、時間がかかる。できるだけ早い機会にそうなるように、我々も国に働きかけていきたい。それから、八王子は八王子としてしっかり充実をさせるための努力をしていく。

【対応】 国による幼保一体化を待つことなく、現行制度の中で、認可保育所、認証保育所、認定こども園の開設を進め、平成26年度には、本市の0～2歳児の35%がいずれかの施設を利用できるよう計画している。

平成22年5月29日・市立南大沢中学校【東部地域】

＜意見＞ 《小学校卒業から中学校入学時の支援シートの導入の要望について》

1番上の子が幼稚園の時の発達障害との診断をきっかけに、親の会をつくった。3年前に幼稚園・保育園から小学校に上がる時に、支援シートというものを市がつくり、親の会でも、非常に使われている。中学校に入って、通級利用する子が非常に少ないと聞いているが、発達障害の特性によるものもあると思う。小学校高学年、中学生ぐらいになると表には見えにくくなり、潜んでくる傾向がある。中学校への進学をきっかけに突然不登校や引き籠りになってしまうこともある。後手後手の対処ではなく、早急に小学校から中学校への進学時に支援シートの対応をお願いしたい。

(匿名者)

＜市長＞ 事前に現状を調べてみたところ、小学校へ上がる時には保育園あるいは幼稚園と保護者の方の連携の中で、この支援シートというのを作っており、十分に小学校では役に立っている。しかし、それが中学校へスムーズにつながっていない。これは課題だと思っている。中には親御さんの意識というのが十分でなく、なかなか保護者の同意が得られないというケースもあるようだ。これも課題だ。親御さん同士の連携というの、大変なことだということもよく理解できる。

完全な小中一貫校もできた。そういう流れの中であり、円滑な継続ができるように、これから検討をきちんとさせる。

【対応】 現段階では、「個別の教育支援計画」の作成意義、活用方法等を周知することで、小中での引継ぎの充実を図っている。

御提案の中学校版就学支援シートを作成することは、小・中学校での接続の部分で支援を必要とする児童にとって大切なものであると同時に、保護者にとっても学校とつながるツールになると認識しており、今後検討していきたいと考えている。

＜意見＞ 《八王子における今後の学校での食育について》

子どもたちの食環境の悪化によって随分色々、子どもたちの健康が害されている。食育基本法が作られたが、学校における食育、それが一番重要だと思う。

学校給食による食育を市長はどう考えているか。八王子っ子に、八王子の特色を生かした地産地消で統一して、新鮮で安全な安心できる地場の野菜を給食に使うという方向性は目指さないのか。

(山本 智恵子 様)

《市長》 確かに、いま食育は大事なテーマで、大変重要な課題だ。幅広く取り組んでいかなければいけないと思っている。

学校給食の食育、八王子の特色を生かした地産地消については、食育基本計画を現在作っており、取り組みができる学校については、取り組みを進めている。しかし、すべての学校が地場の野菜で統一できるかと言うと、現実の問題としては、一定量の確保と供給側の問題もあり、なかなか難しい条件、環境にあるということも、御理解いただきたい。

【対応】 「八王子市食育推進計画」が策定され、地域や年代に応じた食育の取り組みが進められている。

学校給食における食育の推進については、市全体の食育推進計画とリンクしながら、家庭とも連携して、取組みをより一層効果的なものにしていく考えである。

地産地消による取組みについては、近隣農家からの直接仕入れや、農協を通じた地場野菜の使用を引き続き進めるほか、例年の取組みとして、市民農園で収穫したジャガイモを季節の野菜として、夏野菜のカレー、シチューとしてイベント給食を実施したところである。地産地消の取組みを順次拡大しながら、安心な食材を使った給食を、食育の推進を絡めながら運営していきたいと考えている。

平成 22 年6月5日 ・ 由井市民センター【東南部地域】

＜意見＞ 《知的や発達障害児者の緊急時の対応のために理解を（愛の手帳のもつ意味など）》

知的障害や発達障害の子どもたちが事故に遭ったとき、特性を配慮した適切な対応が必要である。緊急時、愛の手帳の所持者は適切な対応を受けられるよう対策されている。周知、理解されていないことで、緊急対応が困難になるときがある。愛の手帳の意味や所持者への対応法を周知し、認識や知識を持ってほしい。同時に、一般市民への周知、認知もお願いしたい。

(田沢 穂 様)

《市長》 私が非常に嬉しいのは、学生さんが、こういう機会に参加していただいたこと、感激している。

消防署、警察署に確認したところ、承知している人としていない人がおり、十分ではないということがよくわかった。徹底するよということと話した。万が一のときに愛の手帳を持っているとわかれば、きちんとした対応ができる。これは間違いないことであるから、そのことを徹底するよということをお願いをした。これからも継続していくよ、きちんとやる。

【対応】 消防や警察の方と顔を合わせる「住宅防火等推進協議会」、「地域精神保健福祉連絡協議会」、「DV被害者支援担当者会」などで積極的に障害者への理解・対応などの周知に努め、障害者が日常生活を送るうえで協力を必要とする案件が発生した場合には、消防や警察との連携をより密にしてその解決に努めている。

また、一般市民の方に対しても、機会をとらえて障害者への理解・対応についての周知や情報提供を行ったほか、障害者の行事やイベントなどを広報へ掲載し、市民の方の参加を呼び掛け、障害者と接する機会を提供した。

暮らしの安全安心課では、市内三警察署、防犯協会、母の会と連絡会議を開催しているので、この会議を通じて交番やパトカーをはじめとした警察官に対して愛の手帳の意味や、所持者への対応法を周知していただけるよう、図っていく。

八王子消防署では以前より、救助活動において救助者の状況を知見することで、経験則による配慮した対応を行ってきたところであるが、八王子消防署に対して更なる配慮の徹底をお願いしたところである。ご要望をいただいてから、救助救急における具体的な事案が発生していないことから、対応結果を示すことはできないが、引き続き徹底していただくようお願いをしているところである。

<意見> 《大学間の連携について》

市内の専門学校や大学で、ボランティア活動をやっているグループ・団体があるのではないか。そういう大学間の連携をとっていただき、地域活動に参加していただきたい。市のほうも連携し、何か支援していただけたらと思う。

(田中 泰慶 様)

《市長》 学園都市づくりに取り組んでから、色々な角度から学校との連携をとっている。産業界との連携、地域との連携、あるいは行政との連携と、幅広く取り組んでいる。

学生委員会・大学コンソーシアム等の活動、連携を、これからもっと進化できるよう、努力をしていく。

【対応】 大学コンソーシアムの検討組織「地域貢献ワーキンググループ」で、各大学の委員から大学の地域貢献について、意見を出していただいている。平成 22 年 8 月の八王子まつりでは、市が大学と町会の橋渡しをし、初めて学生を町会の山車曳き子として参加させ、町会にも学生にとっても好評であった。また、平成 23 年は大震災の影響で、八王子まつりの開催はなかったが、町会からの要請で、町会のまつりに学生が山車曳き子として参加することの橋渡しをした。今後、新たな事業展開について積極的に検討していく。

平成 22 年 6 月 12 日 ・ 横山南市民センター【西南部地域】

<意見> 《各学校に特別支援学級を》

私の孫は特別支援学級に通っている。本来通うべき学校に支援学級がないため、遠くまで車で送迎し、通っている。

それぞれの学校に特別支援学級があるなら、先生同士の情報の共有にもなるのでは。また発達障害の理解にもつながるのではないかと思います。働く保護者のため、学校の中に、または近くに学童保育があるように、まだ特別支援学級がない学校に特別支援学級の設置を心からお願いしたい。

(佐藤 ヤス子 様)

《市長》 各学校に特別支援学級があるのが理想だと思うが、なかなか理想が簡単に実現しないというのが現実の問題。これは八王子市だけではなく、全国的な課題である。市全体のバランスを見ながら、毎年特別支援学級の増設に取り組んでいる。一生懸命これから整備をしていくので、少し時間をいただきたいと思う。

【対応】 学童保育所の障害児保育の充実は今後の検討課題としている。

平成 24 年度は、散田小学校、檜原小学校、由井中学校、上柚木中学校に特別支援学級を開設した。平成 25 年度には、小・中合わせて 4 校に特別支援学級を開設すべく、平成 24 年度予算に改修工事費等を計上した。

今後も、市全体のバランスを見ながら、すべての対象児童・生徒が地域で共に育ち、特別な支援が安定的に受けられるように整備していく。

＜意見＞ 《公団住宅の賃貸の空き家問題について》

最近、都市整備公団の賃貸の空き室が目立つ。若い子育て世代に、市として何か有効な活用ができないか。地域の活性化や防犯面からも、管轄違いは別として、市としての取り組みは何かできないのか。

(坂亀 美智子 様)

《市長》 市内の公団住宅の空き家数は、公団が公表していないためわからない。公団住宅は、いまの人達のニーズには合わないのだと思う。我々の意見を申し述べながら相談・協議をし、リニューアルに努める努力をしていきたいと思っている。

【対応】 平成 23 年 3 月に策定した八王子市住宅マスタープランでは、公団住宅（UR 賃貸住宅）を含めた公的住宅の既存ストックの有効活用を掲げている。公団住宅などの公的住宅事業主体間の情報交換の機会を通して公的住宅の既存ストックの有効活用が図れるよう努力していきたい。

平成 22 年 6 月 19 日 ・ 川口市民センター【西部地域】

＜意見＞ 《地域青少対の健全育成活動、上川美山地区の小学校統廃合問題について》

この地域の青少対では、健全育成活動という同じ目的を持つ団体は、みんなで連携を取ろうと、PTA、子ども、青少年育成指導員、児童館、町会の各機関、団体と連携を取り、共同主催でやっていくことを進めている。

また、上川・美山地区の子どもの数が非常に少ない。小学校統廃合問題で保護者や小さい子どもを持っている人、これから持つであろう若い人達が、非常に不安な状態にある。地域の声を聞いていただくよう、市長からも進言してほしい。

(原島 元義 様)

《市長》 各地域の関係する団体と連携をとるということは大事なことです。感謝を申し上げたい。上川・美山は、子どもが少なくなってきたが、決して統廃合ありきということはない。やはり地域の皆さんの声を聞いて、どういう形態が一番いいのか、これを一緒に考えたいと思う。子どもたちのためにも地域のためにも、プラスになる方向を見出すべきだろうと思っている。

【対応】 町会や保護者で構成された勉強会に招かれて、適正配置に関する説明や質疑を行った。

青少年対策地区委員会の活動などは、地区の実情に合わせた事業計画や実施計画を提出していただいで実施している。

＜意見＞ 《芝生化の予定について》

校庭の芝生化を一部の学校でやっているが、芝生の校庭というのは素晴らしい。予算がないのはわかるが、もっとやっていただけるのかどうか、予定があれば話していただきたい。

(浜中 賢司 様)

《市長》 今年は六小の校庭を芝生化する。芝生化の問題は、維持・管理が大変なことである。地域の皆さんの協力をいただかないとできないことである。

【対応】 校庭芝生化については、平成 20 年度に 2 校（一部芝生化）、平成 22 年度に 1 校（全面芝生化）、平成 23 年度に 1 校（一部芝生化）を実施している。平成 24 年度は 1 校実施する予定である。検証を十分に行い、その結果を基に校庭芝生化事業の方向性を考えていきたい。

平成 22 年 6 月 26 日 ・ 石川市民センター【北部地域】

＜意見＞ 《放課後や休日の学校グラウンドの使用について》

団地の自治会長をしているが、子どもたちの遊び場が少なく、特にボールを使う遊びには苦情が多く寄せられて、非常に困っている。近くの学校のグラウンドを、土・日の半日でもよいので、開放してほしい。安全上の問題があることも承知しているが、学校の先生には絶対負担のかからないように、また、警備の問題や学校近隣の住民に迷惑のかからないように、関係者の御協力をお願いしたい。

(望月 和雄 様)

《市長》 基本的には全学校のグラウンド・体育館を開放している。貸出し方法は学校ごとに違い、子どもたちが自由にいつでも遊べるという形にはなっていない。問題は、不審者侵入等の事件が起きたとき、怪我等の事故があったときに、学校に責任追及する保護者が少なからずいる。それを恐れ、開放しないという学校もある。これは学校の判断に任せている。学校開放についての責任は、地域というかたちのところもある。学校は子どもにとって安全な場所で、開放することを原則に進めてほしいと思う。地域からも子どもの安全問題について提案をしていけば、良い方向に進むと思う。

【対応】 放課後や休日の学校グラウンドの使用については、指導者のいる団体を対象に全学校で開放している。現在、学校施設開放の施設管理方法について、利用者や地域の方が主体となる方法を検討しているところであるが、子どもたちの安全確保については、地域や利用者の方々との協働により進めていきたいと考えている。

放課後や夏休みなどに小学校施設を活用し、保護者や地域の方の参画を得て、子どもたちに安全で安心な居場所を提供する「放課後子ども教室」を実施している。運営は P T A や自治会の方などをつくる小学校ごとの「地区放課後子ども教室推進委員会」が行っており、実施中の 35 校では、子どもたちが放課後から夕やけチャイムまで、安全管理員の見守りの中で校庭や教室などを利用して自由に遊び、学習している。

今後も学校や担い手となる地域の方々との協働を進めながら、すべての小学校区での実施に向けて積極的に取り組む。

学校施設の開放については、市長回答のとおり、各学校長の判断により実施しているが、より公平・効率的で安全な管理・運営を行うため、関係所管および校長・副校長の代表で構成する検討会を設置し、学校施設開放のあり方を検討している。

＜意見＞ 《子ども家庭支援センターの拡充について》

保護者の養育放棄、間違った養育など多様な原因による子どもの困難事例がある。それらの事例に児童委員として対応するときに、東京都児童相談所と子ども家庭支援センターの存在がなくてはならない。しかし、その規模や陣容はまだまだ十分とは言えない。特に、子ども家庭支援センターは職員数、職員のスキル、施設規模など、将来的に拡充となるよう検討をお願いしたい。

(山中 廣司 様)

《市長》 子育てしやすいまちナンバーワンを目指す手立ての一つとして、市としてはいち早く子ども家庭支援センターをつくった。1か所だけ利用者は延べ1万人を超え、親子つどいの広場、夢きつず等の利用者も多く、どんどん拡充している。この需要・ニーズが高いということは、その必要性があるということである。将来的にも、この施設規模を拡充していきたい。安心して子育てができるような環境の充実をしていきたいと思っている。

【対応】 平成22年度、23年度、24年度と正職員を増員し、人員体制の充実を図っている。

平成 24 年度の本市の予算について

市は、皆さんが元気にいきいきと暮らしていけるまちの実現に向けて、さまざまな施策を展開しています。

本年度の予算は、市長就任後間もないことから「骨格予算」として編成しています。

今回の「骨格予算」は、扶助費、公債費、人件費といった義務的経費や施設の維持管理に必要な経費などを計上しています。このほか、先行き不透明な地域経済情勢や災害への対応のため、緊急性を要する景気・雇用や安全安心に関わる事業などを盛り込んでいます。

24 年度に取り組む新たな施策は、「広報はちおうじ」6 月 1 日号でお知らせします。

24 年度予算の概要

平成 24 年度の予算総額は、前年度に比べて 0・4 パーセント増の 3 千 326 億円となりました。そのうち一般会計の予算額は、1 千 812 億円で、前年度と比べ 2・3 パーセント減となっています。

また、市の貯金である基金の取り崩しと、市債（借金）の借り入れを行った結果、24 年度末の基金残高は 102 億円、市債残高は 2 千 218 億円となります。

主な事業

ここでは、平成 24 年度に取り組む事業や施策は、市の基本構想・基本計画「ゆめおりプラン」に掲げた 6 つの都市像の実現に向けて実行されます。その主なものを紹介します。

1. 新しい時代にふさわしい創意にみちた協働のまち

現行の基本構想・基本計画『八王子ゆめおりプラン』は、「地方分権」「市民協働」の実現をめざして新たに「市民会議による素案づくり」を公募市民の皆様により完成し昨年 12 月に提出していただきました。本年度はこの素案を踏まえ、基本構想・基本計画を取りまとめ、市民の皆様にお示しする予定です。

地域の課題を解決するための重要な協働のパートナーである町会・自治会は地域活動への担い手であり、その活性化に向けて支援してまいります。

2. 一人ひとりが大切にされ共助で築くふれあいのまち

障害のある方の権利を援護する条例である「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」が本年 4 月に施行します。

地域における高齢者の保健・医療・福祉などに関する相談窓口の強化を図るとともに、必要な情報提供やサービスを積極的に提供してまいります。

子育て施設の整備及び子育て家庭の負担軽減を図る施策。

保育所入所待機児童の解消につきましては、定員増加を図ってまいります。

民設民営の自主学童クラブを公設につきましては、平成 25 年 4 月に全小学校区における公設化が完了します。

「親子つどいの広場」につきましては、「夢きつず」を八日町から八王子駅北口周辺へ移転いたします。

「子ども手当」に変わる国の施策である「子どものための手当」を支給します。

「がん」の検査治療機器整備を「東京医科大学八王子医療センター」「東海大学八王子病院」へ経費の一部補助をいたします。

3. だれもがいつでも多様に学び豊かな文化を育むまち

小中一貫教育を全校で実施するとともに、第六小学校と第三中学校からなる「いずみの森小中学校」を平成 24 年 4 月に開校します。

学校施設の耐震化につきましては、国の補助予算を活用し、小中学校の耐震化が完了します。また、体育館につきましても、平成 25 年度で完結いたします。

平成 25 年秋に開催予定の多摩国体「スポーツ祭東京 2013」の関連事業として、5 競技でリハーサル大会を開催いたします。

新体育館の整備につきましては、平成 26 年秋の開設に向けて施設の設計に着手いたします。

4. 安全で快適に暮らせる心やすらぐまち

八王子駅周辺では、駅前広場の利便性の向上と駅周辺の活性化を図るため、マルベリーブリッジを東放射線アイロード方面に延伸する工事に着手いたします。

高尾駅につきましては、南北自由通路整備に向けて京王線高尾駅接続部の調査設計を行うほか、引き続き構内の通行費用について助成いたします。

防災対策の基本をなす「地域防災計画」につきましては、本年度から、国の防災基本計画や東京都の地域防災計画との整合を図りつつ検討を加え、平成 25 年度の完成をめざして修正に取り組

みます。

5. 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

中心市街地の活性化に向けて、平成 25 年度から 5 ヶ年計画となる「中心市街地活性化基本計画」を策定するとともに、主要路線である甲州街道沿道の空き店舗に出店する事業者に対して、店舗改修費の一部補助を実施いたします。

高尾山の四季折々の魅力を伝えることができる博物館機能を有する「高尾の里」拠点施設の整備を推進してまいります。

6. 水とみどりを慈しむ地球環境にやさしいまち

「湧水復活 10 年事業」の取り組みとして、「中野山王子安神社湧水」の水量を増やすための調査を実施いたします。

道路や公園に設置しています証明灯につきましては、消費電力の少ない省エネタイプの照明へ切り替えを進めるほか、町会・自治会が設置する街路灯につきましても引き続き LED タイプの普及を推進してまいります。

平成24年度

「石森新市長と語る」 魅力あふれるまちづくり



～ みなさんの八王子への思いを聞かせてください～

各会場へ新市長が伺い、市民の皆さんと対話をする集会です。

地域の市民力をまちづくりに活かすアイデアを直接、市長にご提案ください。

《開催日程》

お誘い合わせの上、お近くの会場へ
直接お越しください。

開催日	会場	時間
5月19日(土)	市役所本庁舎(8階会議室)	午後7時～8時30分 (全会場共通)
5月26日(土)	加住市民センター	
6月2日(土)	横山事務所	
6月9日(土)	北野事務所	
6月23日(土)	恩方市民センター	
6月30日(土)	由木中央市民センター	

※ 発言を希望される方や手話通訳を必要とされる方は、

開催日の1週間前までにお申し出ください。

【問い合わせ先】八王子市 総合政策部 政策審議室(広聴担当) 電話: 620-7411(直通) FAX: 620-7322

市ホームページアドレス <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/>

おわりに

今回の「石森新市長と語る」では、参加者 713 名、6 会場で 65 名の方々から直接ご提案等をいただきました。また、各会場とも市民の皆様からご熱心にお話をいただき、大変感謝申し上げます。

市では、いただいた皆様のご提案等を真摯に受け止め、今後の施策への反映に努めていきます。

今後も、市民の皆様と一緒にまちづくりを考える「市長と語る」を積極的に展開しながら、地域の中で多くの市民の皆様と交流し、ご意見等いただきたいと考えています。お近くの会場で開催した際には、ぜひご参加いただければ幸いです。

平成 24 年度「石森新市長と語る」の記録

平成 24 年 11 月

八王子市総合政策部政策審議室（広聴担当）

電話 042 620 7411（直通）

FAX 042 620 7322